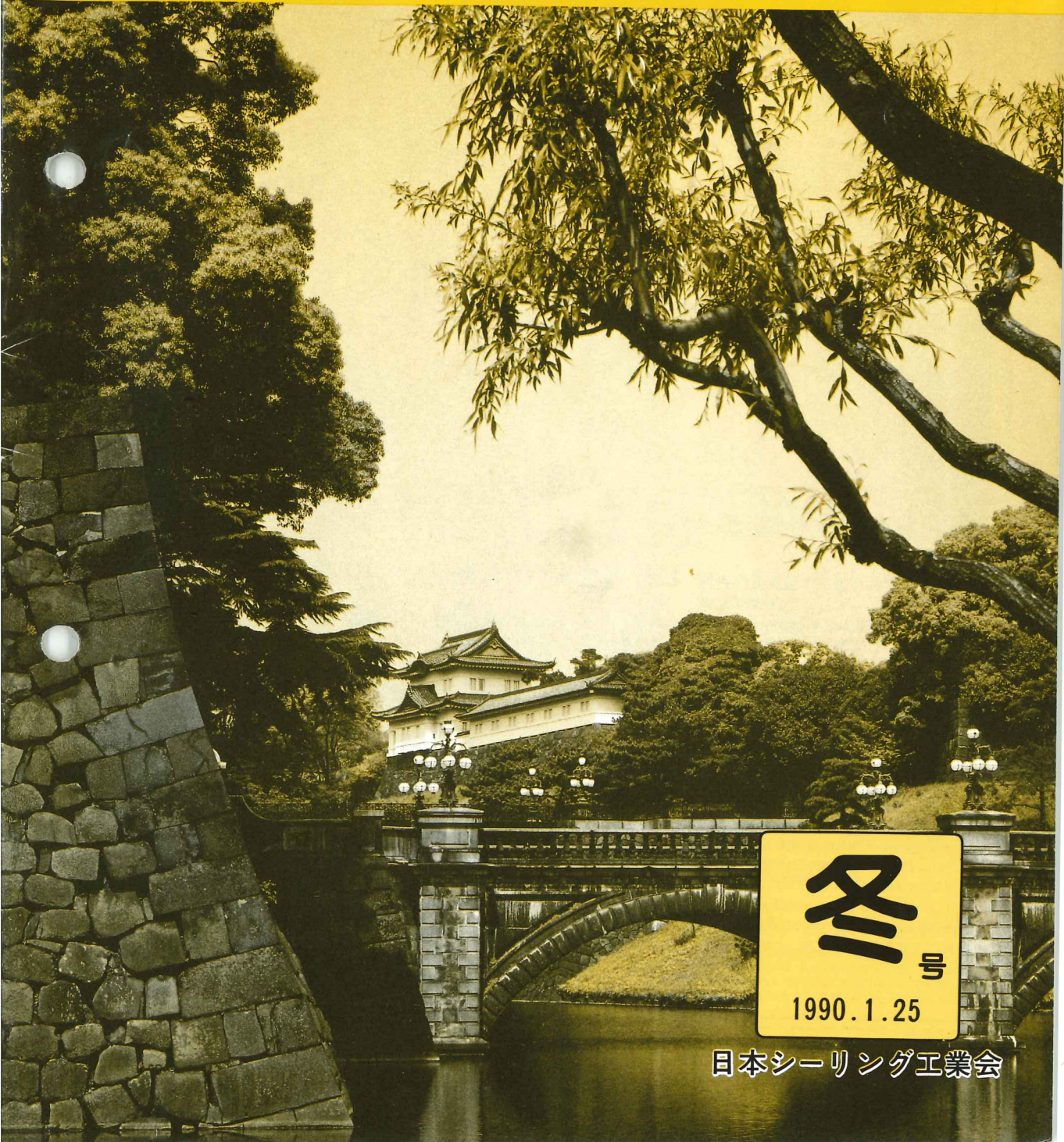


# シーリングニュース

# 38

◆1990年の展望

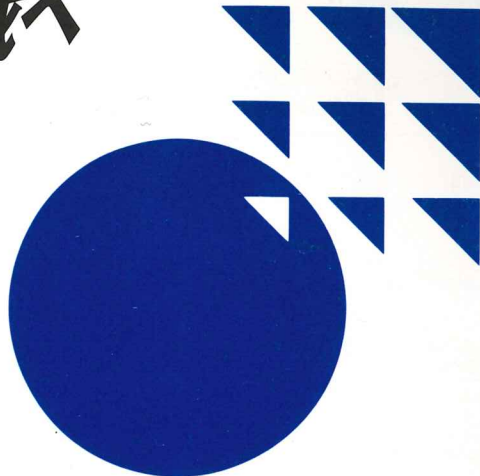


冬  
号

1990.1.25

日本シーリング工業会

世界を見つめて  
**新たな挑戦へ**



# TORAY DOW CORNING SILICONE

12月1日から、トーレイ・シリコーン株式会社は、  
**東レ・ダウコーニング・シリコーン株式会社**  
 (英文社名: Dow Corning Toray Silicone Co., Ltd.)  
 に社名変更いたしました。

東レとダウコーニングのより強い握手。私たちはグローバル企業としての飛躍をめざし、新たなスタートを切りました。今後の「東レ・ダウコーニング・シリコーン株式会社」にご期待ください。

## 東レ・ダウコーニング・シリコーン建築用シーラント

### SSG構法が、 建築を変えた。

最近、脚光を浴びているSSG(ストラクチャル・シリコーン・グレーズング)構法。これは、建物の窓や外壁を構成するガラスやパネルを、耐久性・耐候性・接着性に優れたシリコーン材を使って室内側のマリオンやメタルフレームに接着固定するというものです。メタルフレーム類を外部に出すことなく、平滑なガラス壁面を形成しますので、直線や曲線の組み合わせも自由にでき、美しく斬新なデザインが可能になり、世界的に普及してきています。



#### ■SSG構法用シーリング材

品番	成分形/タイプ	特長
SE796シーラント	2成分形 アミノキシ型	中モジュラス 高伸長 現場施工
SE797シーラント	2成分形 アルコール型	高モジュラス 速硬化性・自己接着性 工場施工
SE798シーラント*	1成分形 アルコール型	高モジュラス 自己接着性 現場(工場)施工

\*DC795相当品

**東レ・ダウコーニング・シリコーン株式会社**

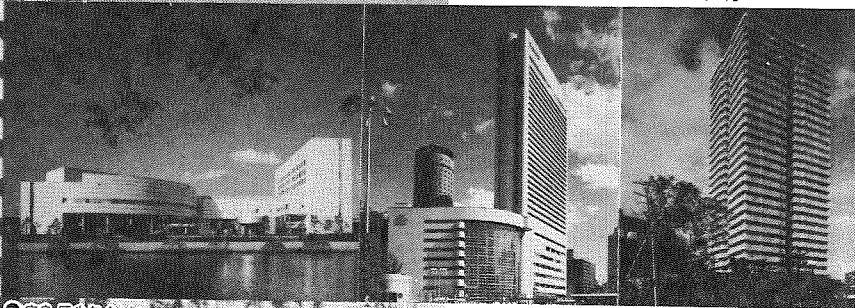
東京都中央区日本橋室町2丁目3番16号 三井ビル6号館 〒103 TEL: (03)246-1651(代表)

# 動くビル

剛から柔へ——現代の建築構造が剛構造から柔構造(動くビル)へと変わったいま、シーリング材は、建物の柔軟性や設計の自由性を支える重要な部材として、設計段階から慎重に検討されています。

サンスター技研は、シーリング材のリーディングメーカーとして、高度化・多様化する建築業界のニーズに、たゆまぬ研究開発と確かな実績でお応えしています。

●日本を代表する数々の著名建築物で採用実績を誇るサンスター技研のシーリング材



●広島厚生年金ビル

●大阪ヒルトンホテル

●新川崎パークシティ1985

耐候力と対応力に自信あり、  
サンスターの  
シーリング材。



建築用弾性シーリング材

**ペンギンシール**

サンスター技研株式会社

本社:大阪府高槻市明田町7番1号 TEL.0726(81)0351  
東京支店:東京都港区三田1丁目3番35号(ヤナハビル) TEL. 03(453)9301  
名古屋支店:名古屋市中区栄場2丁目4番7号 TEL.052(722)6815  
大阪支店:大阪府高槻市明田町7番1号 TEL.0726(84)0600

●トマム・サ・タワー

# 養生テープのパイオニア

## カモ井 No.3303<Blue>



### 《特長》

- 被着体への「ぬれ」がよく、引張りによるテープの伸びが小さく、蛇行がありません。
- 粘着力の温度依存性が小さいので、養生後の「はがし」が簡単で、斜め切れがありません。
- プライマーの溶剤におかされないよう十分考慮されております。
- 強粘着タイプ、弱粘着タイプ、アール(曲線)とり用など用途にあわせてお選び下さい。



## カモ井加工紙株式会社

本 社 〒710 岡山県倉敷市片島町236  
TEL. (0864)65-5811(代) FAX. (0864)65-5815  
東京営業所 〒103 東京都中央区日本橋本石町4-5-8 須田ビル  
TEL. (03)271-3888(代) FAX. (03)271-3601

- 屋上防水工事
- 補修，改修工事
- シーリング工事
- ライニング工事

責任施工

- 防水及補修全般  
結露防止・改修工事
- 赤外線建物診断
- 漏水現場診断・施工設計

広島県外壁補修工事業協同組合員  
 日本シーリング工業事団体連合会会員  
 全日アスファルト防水事業協同組合員  
 日本樹脂施工協会会員  
 サンスター会会員  
 リフリース工業会会員  
 TVS 赤外線建物診断研究会会員  
 (広島県知事許可般-63第4809)

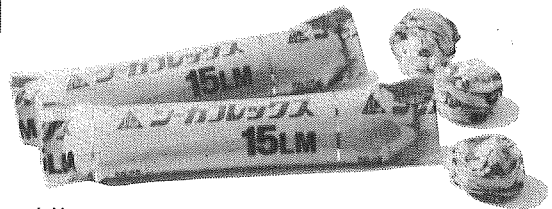
## 株式会社サンゼオン

〒733 広島市西区中広町3丁目17-16  
 TEL 082-291-1631(代) FAX 082-291-1739



### (一成分)+(ソーセージ)=(高効率)

シーカのシーリング材は、一成分ウレタン。常に均一な品質と優れた作業性が身上です。しかもソーセージタイプなら、取り扱いも容易で施工後の後始末も簡単。ですから作業効率が高く、しかも非常に経済的。また材料ロスが極めて少ないのも魅力です。



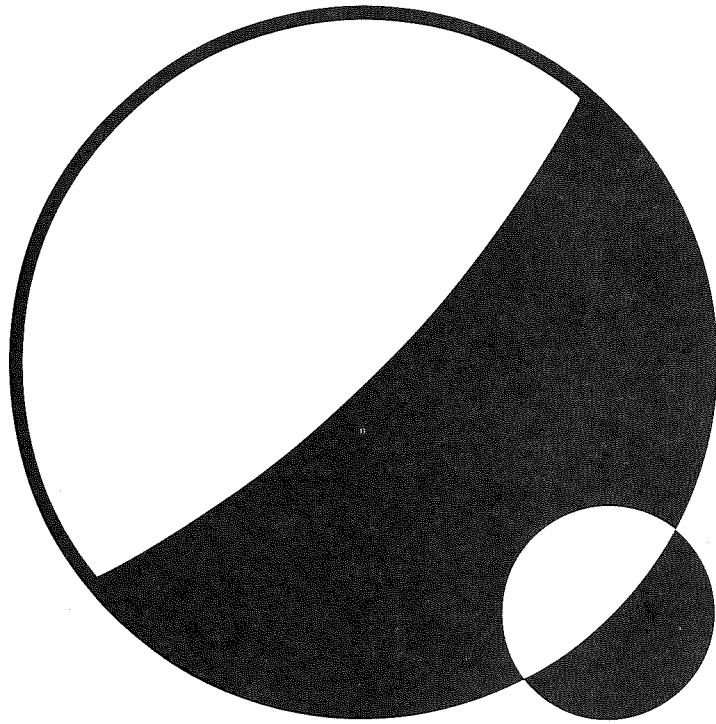
建築用シーリング材

**シカブロックス® 15LM**

**Jika 日本シーカ株式会社**

本社 〒143 東京都大田区大森北2-4-18・東京建物大森ビル TEL.(03)767-9821 FAX.(03)766-2117

札幌(011)221-6331・仙台(022)267-2501・富山(0764)42-3232・東京(03)767-7221・名古屋(052)733-7353・大阪(06)315-7851・福岡(092)472-1684・沖縄(098)69-2841



# SECAICHO

## 人々の健康で快適な暮らしに貢献する 新生 "SECAICHO"

あけましておめでとうございます。

旧年中は皆様のご愛顧を賜わり厚くお礼申し上げます。

本年も「人々の健康で快適な暮らしに貢献する SECAICHO」として、

ニーズに適應した商品の開発に一層の努力をいたしてまいります。

皆様のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

取締役社長 財 前 太 一

## 世界長株式会社

本社／〒663 兵庫県西宮市津門大笹町8-39 Phone(0798)26-5724(化成品事業部)

営業所／名古屋 (052)722-3301 広島 (082)295-0371 福岡 (092)474-5582

東 京 (03) 462-5161 前橋 (0272)23-5675 仙台 (022)295-7051

札幌連絡所 (011)221-2102

新登場

# シーリング材(MS, PS)硬化剤缶 アルミパックに変更!!



●出しやすい!

●使用後 処分しやすい!

又、現在2成分形(変成シリコン系・ポリサルファイド系・ポリウレタン系)  
の3基材は同一口径缶、全色カラーマスター方式となっております。



## Kコニシ株式会社 ボンド建設部

本社営業部/大阪市中央区平野町2-1-2(沢の鶴ビル)〒541

東京支店/東京都台東区台東4丁目28番11号(第一勧銀渋谷ビル)〒110

福岡支店 名古屋支店

TEL06 (228)2963

TEL03(5688)2281

札幌/仙台/新潟/金沢/北関東/静岡/高松/岡山/広島/鹿児島

KANEKA

# 建築美を支える。

変成シリコンポリマー

カネカMSポリマー®



大阪ヒルトンホテル

アクテイ大阪

超高層ビルからプレハブ住宅まで、

目立たないけれど  
高反応で定着しています。

- ▲耐久性、耐候性に優れています。
- ▲作業性が良好です。
- ▲石材、タイルなど目地周辺を汚しません。
- ▲塗料の付着性が良好です。
- ▲超高層ビルから小住宅まで幅広い用途に使用できます。

きれいなシーリング

鐘淵化学工業株式会社  
特殊樹脂 二部

- 本 社 千530 大阪市北区中之島3丁目2番4号 朝日新聞ビル  
電話：大阪(06)228-5331(ダイヤルイン)
- 東京支社 千107 東京都港区元赤坂1丁目3番12号 赤坂センタービル  
電話：東京(03)479-9675(ダイヤルイン)



- 9 会長挨拶、顧問・日シ工連会長近況報告  
大谷浩造・小池迪夫・加藤正守・山本 勇
- 13 工業会1年の歩み
- 15 1990年を展望する
- 20 俳句“永平寺”(加藤正守)
- 21 トピックス
- 26 会員会社紹介  
コニシ・サンスター技研
- 28 リレー随筆その2 “少年の思い出”(平野英作)
- 31 技術文献紹介
- 32 本部だより・各地からのたより
- 35 刊行物案内
- 36 日本シーリング工業会の概要

変成シリコン系2成分形シーリング材

**ニッシーター・MS**

ポリウレタン系2成分形シーリング材

**ニッシーター・ウレタン**

ポリサルファイド系2成分形シーリング材

**ニッシーール**

ブチル系1成分形シーリング材

**スレニシーール**

〈製造元〉

**日興化学工業(株)**

■ ☎135 東京都江東区白河4-9-5

■ ☎東京03 (642) 7105~6・7155

性質・用途	アミノキシ型			酢酸 1成分形	アルコール 1成分形	オキシム 1成分形
	1成分形	2成分形	3成分形			
低モジュラス (メタル・PCカーテン ウォール・土木用)	トスシール <b>10</b> ②*1	トスシール <b>361</b> ②*2				
一般用 (ガラス・一般建材用)				トスシール <b>371</b>	トスシール <b>380</b>	トスシール <b>381</b> ②*3
中・高モジュラス (ストラクチャル グレイジング用)		トスシール <b>62</b>		トスシール <b>1200</b>		
防カビ性 (バスタブ用)		トスシール <b>63</b>		トスシール <b>73</b>		トスシール <b>83</b>
超透明 (ショーケース用)				トスシール <b>78</b>		
難燃性 (防火区画内用)		トスシール <b>64</b>				
難燃充填シール用 (シリコンフォーム)		トスシール <b>300</b>				
流動性 (土木用)		トスシール <b>67</b>				
マスチック型 (油性補修用)			トスシール <b>90</b>			

\*1 JIS A 5758「SR-1-10030-A-N」

\*2 JIS A 5758「SR-2-10030-A-N」

\*3 JIS A 5758「SR-1-9030G-A-N」

認定品 許可番号 第381142号

信頼のブランド

# トスシール

## 各種用途に適した 製品のラインナップ

超高層ビルに数々の実績があるトスシール。この実績が保証する品質の確かさ、十分なる技術サービス体制、豊富な製品ラインが、どのような用途にもきっとご満足 of のゆく製品となって、皆様のお手許にお届けすることができます。

●建築用シーリング材に関することなら、まず、東芝シリコンにご相談ください。



**東芝シリコン**

**東芝シリコン** 株式会社

本社/〒106 東京都港区六本木6-2-31  
☎(03)479-3501(代) ●支店/大阪・名古屋  
営業所/札幌・仙台・北関東・松本・厚木・金沢・広島・福岡

## 年頭にあたって

日本シーリング工業会  
会長 大谷 浩造



新しい年を迎え、誌上を借り皆様方に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は昭和天皇御不例の中に新年を迎え、間もなくの崩御に接しました。激動の昭和

を生きて来た私どもにとりましては誠に感無量であり、昭和の時代が終ったことに一抹の淋しさを感じた次第でございます。

さて国内経済は、政府の推進する内需拡大策が定着し、活況の中に推移いたしました結果、旺盛な建設需要に伴い、シーリング業界も潤い、シーリング材の出荷も好調で、前年に引続き可成の伸長になったものと思われま

す。当工業会では63年度事業として、官民共同研究「シーリング防水の改修設計・施工指針」の作成に参画し、技術委員会で検討を行ない、その結果を昨年1月末に答申致しました。本件は昨12月7日報告会が催され発表されました。この報告はいずれ公刊されると聞いております。

平成元年度の事業としては、JIS A 5758-1986「建築用シーリング材」の見直しを取り上げ、工技究の指導の下に、(1)新基材—変成ポリサルファイド系の編入、(2)試験項目及び内容の見直し、(3)外国並びに国際規格との整合——を目標として作業を進めており、今年3月初旬に答申を予定しております。

また今秋米国ワシントンで開催されるASC国際会議への参加を予定し、発表論文の取りまとめを行っております。

当工業会で発表しております出荷統計は、業界唯一の指標で、会員は勿論のこと各界で広く活用されておりますが、私どもはより正確でより権威ある統計とすべく通産省の指導を得、昨夏以降通産省主導による統計調査に改めました。四半期毎の統計とな

りましたので、年内の推移が見られると共に、政府に於ける助成・政策決定などの重要な資料ともなりますので、私どもも協力を惜しまず、業界のご理解に役立てて頂ける資料にしたいと存じております。

さて今年の経済状況は如何なものでしょうか、政府の内需拡大政策は変わらないと思われま

すので、国内経済は多少のかげりがあるとも、引続き活発であると考えられます。建設業は経済の先導を務める以上、シーリング材もその余慶に預かるものと存じます。このような好機に恵まれながら利益なき拡大に走るような愚を避けたいものです。

ベルリンの壁も撤去され、東西の無益な軍備競争にも終止符が打たれました。世界中が繁栄に向って動き出した情勢に遅れることなく、私どもも協調と信頼を深め稔りある年にしたいと念願する次第であります。

## シーリング

それは恣意淋愚ではなく  
仕為隣具でなければならない

日本シーリング工業会顧問  
東京工業大学教授 小池 迪夫



過日、箱根新道を車で下りた。

料金所の横に「シート（死亡）ベルト着用」の掲示があった。安っぽい語呂あわせとは思いつつ、それなりに記憶に留まる思いだった。

さてこの小文は、閑人特有の駄洒落であることをお許し頂きたい。

\*

建築界には、専門内容によるヒエラルキーが厳然と存在する。建築に関する雑誌の編集方針を見れば、その順序は自ずから明白である。残念なことは、最近その傾向が(株)日本建築学会の機関誌である「建

## 近況報告

建築雑誌」にも現われていることである。要するに、建築の専門分野は平等ではないのだ。

シーリング工事にしてもそうである。今では十分認識されてきたと思うが、とかくデザイナーは、設計の理論を無視して目地幅を狭く要求する傾向がある。そしてヒエラルキーがそれを強要する。しかし、その報いは思わぬ短期間で疲労による欠陥発生という形で現われる。

シーリングジョイントの設計は建築防水技術の中で最も工学的である。それは、シーリング材が置かれる環境がモデル化され易いことにもよるが、ジョイントムーブメントの発生が、コンクリート下地のムーブメントに較べて、位置においても大きさの面でも、必然性と確度が断然高いことに由来しよう。

別の言葉で言えば、防水層の場合は原則無視の選択が、下地コンクリートのムーブメント発生如何によっては、欠陥を免れる幸運に恵まれることもある。しかし、カーテンウォール等のシーリング材の場合には、その幸運は全くない。

恣意とは、わがままな心・自分勝手な考えを言う(新漢和辞典・大修館刊)。原則を無視した勝手な指示は、やがて報いのくる淋しく愚かな行為と言える。

シーリングは“恣意淋愚”であってはならない。

\*

仕とは、「奉仕」の用例のように、つかえるの意であり、具とは、完備する・準備する意である(新漢和辞典・大修館刊)。

すなわち、シーリングの技術は隣にくる部材に仕える為の諸条件を完備するものである。

まさに“仕為隣具”と言えよう。

\*

シーリング材やシーリング技術がそうであることは、シーリング材業界にもそれが要求されていることである。

ということは、別の目的で開発されるフッソ系塗料などへの対応も、シーリング材業界の責任といえるのかも知れない。

## 変革の時代に

日本シーリング工業会顧問  
千葉大学助教授 加藤 正守



昭和から平成へ、昭和は終わった。「沖縄の返還なくして日本の戦後は終わらない」という名言があったが、事変、戦争、敗戦、復興、繁栄の激動の昭和は終わったのである。

リクルート事件、消費税の導入などの政治不信を背景に、先に行われた参議院選挙では自民党が惨敗し、社会党を中心とする野党勢力が大勝した。参議院では政府与党である自民党は絶対的過半数を失ってしまった。わが国は議会制民主主義国家であり、複数政党は存在しているが、実質的には長期にわたって一党支配による政治体制が続いていたが、ある意味での新しい時代への変革を意味しているであろう。臨時国会では、消費税の廃止法案や見直し法案が審議されたが、近く予定されている総選挙ではいかなる審判が下されるのであろうか。

地中海のマルタにおける米ソサミットは、冷戦の象徴として東西ベルリンを分断してきた「壁」に穴をあけ、ブルンデンブルク門での東西ドイツ首相の固い握手を実現した。ソ連は深刻な経済問題を抱え、独立を求めるバルト三国の百万人の「人間の鎖」などの対応に苦慮しながらもペレストロイカを叫び続けている。改革は必ずしも進んではないが、ハンガリー動乱の武力介入の誤りを認め、東欧諸国の新たな改革を期待している。ハンガリーとポーランド、そしてチェコスロバキアで共産政権が倒れ、複数政党による自由選挙を実施するという。共産主義は崩壊したのだろうか。最後まで改革を拒否していたルーマニアのチャウシェスク政権が崩壊しつつあることを伝えている。戦争という手段によらず市民運動によってこのような政治的改革をなし遂げたのは歴史人類を見ないことであろう。

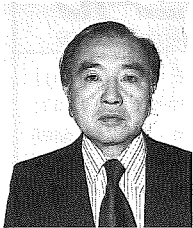
中国は武力によって民主的市民運動を鎮圧した。

中国、北朝鮮などアジアの共産主義は何処へ行くのであろうか。米国のパナマへの侵攻は、中南米諸国の米国への不信感を高めつつある。自由が勝つか、武力が勝つか、世界の流れは変えることはできない。

1990年は、21世紀への新しい時代への第一歩であり、政治的、社会的変革が経済にどのような影響を与えるのであろうか。変革の時代へ世界は大きく動いている。

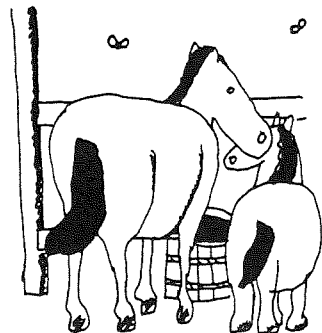
## 1990年を迎えての課題

日本シーリング工事業団体連合会  
会長 山本 勇



皆様新年明けましてお目出とう御座居ます。今年は、「馬年」です。大いに天高く駆け昇りたいですね。私共日シ工連も、創立満15周年を迎えるにあたり、永年懸案として参りました組織の法人化を目指し、全国事業協同組合連合会組織へと改組し、年明けと共に走り出すことに致しました。建設業界は好況の波に乗り、受注量は増大しつつあり、今年も又好況持続が期待出来るそうです。誠に喜ばしきことで同慶の至りに存ずる次第です。昨年12月には、東京晴海及び千葉県幕張メッセの両会場で、日本では初めてとも言える防水関連業界全体での大々的なPRも開催され、予想を上回る沢山の見学者の来場がありました。私も見学者の1人ですが、情報宣伝下の時代を反映して、今回の開催の社会的価値の意義は大きく、業界発展にも大きく寄与するものと深く感銘すると共に、今後の業界の責任の重要性を強く感じて参りました。日シ工連は、今回の開催には出店参加は致しませんでした。工事業者としての参画方法に難しさを感じたからで、実際見学後も、その考えは変わりませんでした。来年度の開催までにはじっくり良案を練って参加の途を考えよう……と思ひながら会場を後にしてきました。扱昨年度「シーリング防水業」を取りまく、防水関連業界の動きの中で、一番感じられた問題と

して、我々業界に対する、外部業界からの攻勢の度が強まって来つつあると思えることでした。勿論、自由競争原理の中では、当然な動きかも知れません。土地取得に限度のある島国日本では、建築物は上へ伸びて高くせざるを得ません。この事で工事が増えるのは「シーリング防水分野」であって、底面積を広く大きくは難しいことです。即ち面防水工事業の増大にはつながりません。「シーリング防水分野」が狙われるのは当然と思うべきでしょう。一方工事業増大を克服するのに必要な作業労働者の不足、その最終解決策とも言える自力による若手労働者の教育養成対策も思うにまかせません。又材料販売流通経路の複雑性からくる諸問題、同業防水業者間の競争等々、同じ屋根の下に住む仲間なのに、なにか、ごちゃごちゃして味方なのか敵なのか判然としない様相が強くなります。そうした意味からも、今年は是非とも、シーリング防水工事業としての将来へのビジョンを、しっかりと把握確立して、その中から自立自営の途を捜し出して、全会員一致団結し諸問題を解決してゆかねばなりません。それがためには「シーリング防水」の社会的、業界的な価値を高めてゆく方策と位置づけを、しっかりとPRしてゆく以外に途はありません。今年は「馬年」です。目的達成に向って走り出すに、ふさわしい新年です。この度、事業協同組合連合会に改組した理由もそこにある訳で、全会員皆様の絶大な協力と努力を心からお願い申し上げます。そしてユーザーの皆様よりの強く、固い信頼を得るよう頑張つてゆこうではありませんか。



# IT'S JUST SEALANT!

☉JIS A 5758 許可番号576247

## フジチオコール

液状ポリサルファイドをベースとした2成分形のシーラントで、構造物の変位に追随し、日光、油薬品等によく耐えます。

☉JIS A 5758 許可番号381074

## ユーゼット103

ウレタンエラストマーの特性を活して、シーラントとしての要求を満たし、且つ優れた諸性能を有する2成分形のシーラントです。

☉A 5758 許可番号 576247

## メトリック

変成シリコンポリマーをベースに耐熱性、耐久性は抜群、経済性や施工条件に対して許容度を高めた総合性能バランスの良さが大きな特徴のシーリング材です。

アクリルエマルジョンをベースにしたシーリング材で、長期にわたり柔軟性を失うことなく、その性能を十分に発揮します。

## アクリルエース

乾性油および不乾油などの油や石油樹脂、タルクなどを混ぜて練り合せ柔軟性のバネ状にした油性コーキング材です。

## エバーシール

☉JIS A 5751 許可番号368206



## 昭石化工株式会社

本社 東京都渋谷区代々木1-11-2 TEL. (03) 320-2005  
 札幌出張所 011(251)7912 東京営業所 03(320)2013  
 仙台営業所 022(267)5319 名古屋営業所 052(231)6568

金沢事務所 0762(22)4911  
 新潟営業所 025(225)2331  
 大阪営業所 06(341)6395  
 広島出張所 082(283)9226  
 福岡営業所 092(291)0008

## A型ミキスタに"子供"ができた!! 軽量型ミキスタ11.5kg〔誕生〕

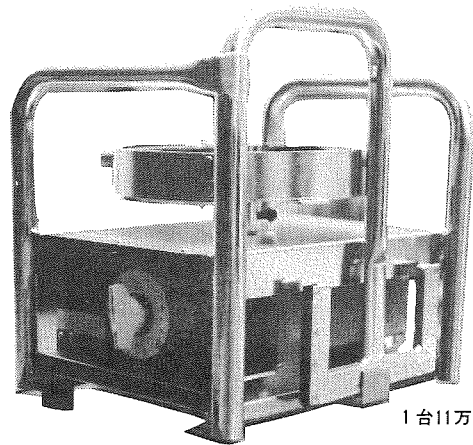
### …特長…

**簡便** 11.5kgと軽量・小型、パドルが側部に装着でき持ち運びが便利。片手でラクラク移動できます。

**丈夫で長持ち** 通気性を高めモーターの温度上昇を防ぎました。1日連続8時間運転にも充分対応します。

**安全** 重心が低いいため転倒や缶ブレがありません。また取っ手が保護枠、パドルアーム（パドルを差し込む部分）となり突起箇所がなく、電源コード格納スペース付きの安全設計です。

**確実・安心** 174φ～232φ缶までを定評の山型パドルで完璧に混合します。尚、3段式フープをセット致します。(186～244共通)

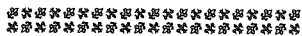


1台11万円

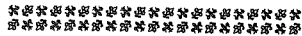
※実用新案・意匠登録出願済

## ミキスタ工業株式会社

〒103 東京都中央区日本橋蛸殻町1-33-7  
 電話 03-669-9471 (代)



# 工業会1年の歩み



年 月	主 な で き ご と	関 連 業 界
1. 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○25周年記念講演会及び新年会開催。 特別講演：講師・堺屋太一氏「建設業の中長期見通し」</li> <li>○「シーリングニュース」35号発行。特集「サイディング材とシーリング」</li> <li>○管理士検定講習会開催。管理士64名，技術管理士88名が参加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○消費税外枠表示統一を要請（日本建材産業協会）</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○官民連帯共同研究「シーリング防水の補修・改修設計・施工指針」完了。報告を答申。</li> <li>○消費税実施に伴いカルテル結成の届出，受理された。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○建築工事共通仕様書元年版刊行（建設省）</li> <li>○昭和62年リフォーム投資3兆8000億円と発表（建設省）</li> <li>○関連業界，施工・販売店会が続々消費税カルテル結成</li> <li>○診断希望は「外壁・防水」がトップ（マンション保全診断センター）</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○理事選挙管理規定を制定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「シーリング防水施工法」改訂版発行（日シ工連）</li> <li>○SSG構法など先端技術シンポ開催（日本建築学会）</li> <li>○北海道シーリング工事業協同組合設立</li> <li>○大深度地下開発構想具体化（官庁，ゼネコン）</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○63年度決算並びに元年度予算案を決定。</li> <li>○「シーリング」26号発行。建設省建築工事共通仕様書及び消費税Q &amp; Aを特集。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○JASS21「ALCパネル」改定</li> <li>○平成元年度建設投資見通し70兆1100億円に（建設省）</li> <li>○日シ工連第14回総会開催</li> <li>○全防協（仮称）設立説明会開催</li> <li>○保全工事共通仕様書元年版発行（住都公団）</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第26回通常総会開催。63年度事業報告，決算並びに元年度事業計画，予算案，役員人事，会則改正を可決承認。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○サッシ・建具 JIS 改正へ</li> <li>○建築学会大会開催（熊本）</li> <li>○日本建築仕上学会設立</li> <li>○創立20周年祝典挙行（建築ガスケツト協会）</li> <li>○東北シーリング工事業協同組合設立</li> <li>○SSG構法研究報告会開催（日本建築学会）</li> <li>○秋季講演会開催（建研）</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1990年ワシントンで開催されるASC国際会議への参加を決定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○通産省より統計調査結果（元年1～3月，4～6月）が発表された。</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>○JIS A 5758 改正につき正式委託を受けた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○通産省より統計調査結果（元年1～3月，4～6月）が発表された。</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>○通産省窯業建材課が「シーリング材生産量」統計調査を実施。</li> <li>○「シーリングニュース」36号発行。特集「消防法改正に伴うシーリング材等の取扱いについて」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○通産省より統計調査結果（元年1～3月，4～6月）が発表された。</li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>○JIS 改正第1回本委員会開催，改正作業を開始。</li> <li>○会員名簿発行。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○通産省より統計調査結果（元年1～3月，4～6月）が発表された。</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○通産省より統計調査結果（元年1～3月，4～6月）が発表された。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○通産省より7～9月の統計調査結果発表。</li> <li>○顧問・相談役を囲む懇談会開催。</li> </ul>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>○技術講演会開催。▷鉄道総研・主幹研究員 大石不二夫氏「鉄道橋梁用ロングライフシーリング材」▷大成建設・主席研究員 角田知己氏「土木建築用途における新しいニーズとシーリング材」▷日本プレコン・技術課長 渡辺敬一氏「コンクリート2次製品の目地処理」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○通産省より7～9月の統計調査結果発表。</li> <li>○顧問・相談役を囲む懇談会開催。</li> </ul>
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>○通産省より7～9月の統計調査結果発表。</li> <li>○顧問・相談役を囲む懇談会開催。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○通産省より7～9月の統計調査結果発表。</li> <li>○顧問・相談役を囲む懇談会開催。</li> </ul>

# 時代の進化をサポート。

## 建築用弾性シーリング材

# ハイボン®

2成分形ポリサルファイド系

### Hi-Bon 1000

2成分形ポリウレタン系

### Hi-Bon 5000

2成分形変成シリコン系

### Hi-Bon 2000

1成分形ポリウレタン系

### Hi-Bon 5100

Ⓢ表示許可工場

## Ⓢ日立化成ポリマー株式会社

東京都千代田区内神田1-13-7 (四国ビル)〒101

### 実績と信頼の

## シーリング材

PS2000

JIS-A-5758 9030認定品

### ボニーシーラー

ポリサルファイド系シーリング材

MS3000

JIS-A-5758 9030認定品

### ボニーシーラー

変成シリコン系シーリング材

U3000

JIS-A-5758 8020認定品

### ボニーシーラー

ポリウレタン系シーリング材

RH200D

JIS-A-6024規格合格品

### エポセツト

エポキシ系注入剤

## Ⓢ日立化成株式会社

本社 〒533 大阪市東淀川区下新庄3-11-28

TEL 大阪 (06) 328-1118 (代表)

東京営業所 〒105 東京都港区新橋6-10-3 (遠江ビル)

TEL 東京 (03) 431-9357 (代表)



# 1990年を展望する

広報委員会

## 概況

好調な国内景気に支えられ、産業界は依然として好況に沸き立っている。特に建設業は、構造不況に喘いでいた昭和50年代から一転し、内需拡大の牽引車的役割を果しつつ急激な成長を遂げている。ピークを過ぎた住宅建設も依然高水準で推移、合理化・省力化を目的とした設備投資も引続き活発で本年の見通しも明るい。反面、建設労働力の不足と高齢化問題は益々深刻の度を加え、外国人労働者の雇用と併せて本年の大きな課題となっている。防水・シーリング業界も例外ではなく、各地で技能労働者の払底が露呈している。元請・下請の関係改善、技能労働者の地位向上、さらに低水準のままの労働生産性と受注価格の見直しなど業界に内在する課題は多い。今こそ、業界こそって“魅力ある建設産業”への取組が必要な時と言えるだろう。

## 建築着工動向

全国的な活況によりゼネコン、サブコンともフル稼働が続き、建築資材メーカーの出荷量も一昨年度ではないにせよ二桁前後の伸びは確保した模様である。

建築投資の推移は、昭和62年、63年の急激な増大に比べればやや鎮静化をみせているが、現時点での受注状況と実質65兆円(前年比0.5%増、平成元年見通し)という投資規模からすれば、現状が建設業全

体のひとつの生産限界に至っているとの見方もできる。一方、着工動向を見ると、昨年1～10月の総床面積は前年同期比で5.4%増、不燃建築については6.4%増を示した。投資規模同様伸び率は鈍化しているが、一昨年の高水準を引継いでのものでかげりは全く見られない。62年が一応のピークと見られた新設住宅着工も目立つ程の落込みは見られず、昨年は戸数・床面積とも一昨年を上回る可能性が出ている。また、鉱工業、商業、サービス業など非居住用建設も民間の設備投資が活発で昨年は一昨年に続き14～15%の伸びが見込まれ、さらに、本年についても内需好調の持続から設備投資増額予定企業がふえるとの予測も出ている。

こうした傾向に加え、特に関西地区に目立つ大型プロジェクトの本格化、狭少な国土を背景とした建築物の高層化ならびに再開発、海外工事の受注回復など建設需要はまだ当分高水準を保つと見るのが妥当と思われる。しかし一方で、労働事情の悪化、中々改善されない建築労働生産性といった問題も顕在化してきた。現実には、建設業就業者数は過去最高を記録しているところから多すぎる需要に追いつけないのが実態でもある。工・構法ならびに材料開発による現場生産性の向上が、とりあえずは今後の着工増を左右する大きなポイントになるとも言えそうである。

# シーリング材需要動向

建築用シーリング材の出荷動向については、昨年  
から通産省窯業建材課による生産量調査が行なわれ  
るようになり、より正確な統計値の把握が可能とな  
った(シーリングニュースNo.37既報)。その結果、従  
来の当工業会調べによる出荷推計値に、かなりの上

方修正が施されたものもあるので留意されたい。以  
下は、最新資料である昨年第3四半期までの統計値  
(表-1)をもとにした需要動向の概要である。

昨年の建築用シーリング材全体の伸びは、高水準  
ながらも一昨年の17.5%増には及ばず、着工量同様  
鈍化を示し10%前後、出荷量も8万3,000~4,000ト  
ン程度と見られる。近年の傾向としてシリコン系、

表-1 建築用シーリング材の生産量の推移 通産省生活産業局窯業建材課調べ(単位:トン)

基 材	年 次	1985年	1986年	1987年	1988年				1989年			
					1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
シ リ コ ン 系		9,083	10,293	11,401	13,002	2,971	3,175	3,391	3,466	3,871	3,567	3,929
	1 成 分 形	7,836	8,882	9,923	11,352	2,571	2,781	2,969	3,031	3,465	3,172	3,524
	2 成 分 形	1,247	1,411	1,478	1,650	400	394	422	435	406	395	405
変成シリコン系		3,879	5,122	7,133	9,574	2,151	2,265	2,446	2,713	2,861	2,965	3,164
	1 成 分 形	1,658	2,534	3,861	5,155	1,135	1,268	1,361	1,393	1,436	1,561	1,603
	2 成 分 形	2,221	2,588	3,272	4,418	1,015	997	1,085	1,321	1,425	1,405	1,562
ポリサルファイド系		9,757	9,604	9,873	11,309	2,831	2,549	2,824	3,105	2,894	2,684	2,912
アクリルウレタン系		600	610	660	780	150	220	250	160	180	200	240
ポリウレタン系		15,517	17,165	20,542	24,513	5,852	5,856	5,989	6,816	6,484	6,718	6,42
	1 成 分 形	3,948	4,111	4,910	6,036	1,363	1,493	1,521	1,659	1,682	1,807	1,745
	2 成 分 形	11,569	13,054	15,632	18,477	4,489	4,363	4,468	5,157	4,802	4,911	4,598
ア ク リ ル 系		11,812	12,106	12,694	14,634	3,210	3,529	3,848	4,047	3,627	3,755	3,732
S B R 系		69	60	52	46	9	11	10	16	10	9	9
ブチルゴム系		1,130	1,115	1,197	1,324	291	319	336	378	317	342	226
油 性 系		2,071	1,895	1,670	1,462	318	383	389	373	320	375	299
合 計		53,918	57,970	65,223	76,644	17,783	18,306	19,482	21,074	20,565	20,616	20,852

小数点以下は四捨五入。(JIS Z 8401(1984)「数値の丸め方」に準拠)  
従って各項目の合計は必ずしも合計値に一致しない。

表-2 建設着工統計

※次頁に続く(単位:千㎡)

月 間 年 間	総 数 床 面 積	用 途 別 床 面 積							
		居住専用	居住産業 併 用	農林水産 業 用	鉱工業用	商業サー ビス業用	公益事業用	公務文教用	そ の 他
55 (対前年比)	221,722 (90.4)	109,807 (88.6)	22,468 (84.2)	7,665 (88.0)	22,688 (103.7)	29,735 (88.7)	5,337 (95.2)	23,919 (96.5)	104 (60.1)
56 (対前年比)	202,752 (91.4)	100,122 (91.4)	20,028 (89.1)	6,678 (87.1)	21,346 (94.1)	28,170 (94.7)	5,551 (104.0)	20,716 (86.6)	139 (133.7)
57 (対前年比)	195,642 (96.5)	100,672 (100.5)	18,932 (94.5)	5,981 (89.6)	19,089 (89.4)	26,756 (95.0)	4,508 (81.2)	19,530 (94.3)	174 (125.2)
58 (対前年比)	189,281 (96.7)	92,470 (99.9)	18,706 (98.8)	6,301 (105.3)	19,130 (100.2)	30,292 (113.2)	4,262 (94.6)	17,892 (91.6)	228 (131.0)
59 (対前年比)	196,138 (103.6)	92,788 (100.1)	19,082 (102.0)	6,109 (97.0)	25,568 (133.7)	31,137 (102.8)	4,478 (105.1)	16,721 (93.5)	246 (107.9)
60 (対前年比)	199,561 (101.7)	95,705 (103.1)	19,138 (100.3)	5,838 (95.6)	25,035 (97.9)	31,617 (101.5)	5,789 (129.3)	16,216 (97.0)	223 (90.7)
61 (対前年比)	207,682 (104.1)	102,858 (107.5)	19,864 (103.8)	5,809 (99.5)	21,248 (84.9)	35,600 (112.6)	5,396 (93.2)	16,736 (103.2)	172 (77.1)
62 (対前年比)	237,226 (114.2)	123,703 (120.3)	23,213 (116.9)	5,763 (99.2)	21,391 (100.7)	40,795 (114.6)	5,814 (107.7)	16,344 (97.7)	203 (118.4)
63 (対前年比)	255,783 (107.8)	127,064 (102.7)	24,216 (104.3)	5,477 (95.0)	29,901 (139.8)	45,404 (111.3)	6,894 (118.6)	16,574 (101.4)	252 (124.1)
平成元年 第1四半期 (対前年同期比)	57,385 (104.8)	27,859 (97.5)	5,209 (92.2)	1,087 (97.3)	7,629 (140.1)	11,120 (118.5)	1,596 (114.1)	2,845 (90.8)	42 (77.7)
平成元年 第2四半期 (対前年同期比)	71,107 (108.5)	35,326 (106.7)	6,498 (99.8)	1,522 (111.5)	10,042 (131.7)	12,227 (104.4)	1,929 (117.7)	3,452 (97.5)	112 (186.7)
平成元年 第3四半期 (対前年同期比)	71,602 (103.1)	33,454 (99.3)	6,244 (97.9)	1,400 (94.0)	9,793 (120.8)	12,590 (102.9)	2,366 (127.4)	5,666 (101.4)	88 (139.6)

変成シリコン系、ポリサルファイド系、ポリウレタン系の各弾性基材の伸びが著しく、中でも1成分形の進出が目立っているが、昨年もほぼ同様に推移、各基材とも好調を示している。しかし、その好調な1成分形を凌いでいるのが変成シリコン系2成分形で、1～9月の前年同期比では41.8%の大幅増を示し、汎用化が進んでいることを物語っている。

本年も着工動向の流れから全般的に増加基調にあることは確実だが、伸び率については労働事情等も考慮すると引続き鈍化する可能性が濃い。しかし、労働者不足は逆に建築構法の乾式化を一層促すものと考えられ、カーテンウォールメーカーの予測ではPC部材等の生産量は昨年比10～15%増を見込んでいるほどである。シーリング材出荷量もシーリング

業界、特に施工面のキャパシティに関ってくる面も出てきそうであるが、乾式構法を支える建築材料としてその重要性は益々高まるものと考えられる。また、シーリング施工も、ここに至り1成分形の進展、住宅建設のパネル構法化により、従来の専門技能者以外にも新規参加者がふえている。新たな需要層としてその成長に注目すべきであるが、技術面での未

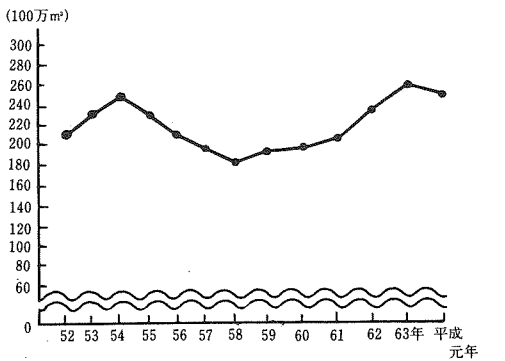


図-1 建築着工面積 (総床面積) 1～11月

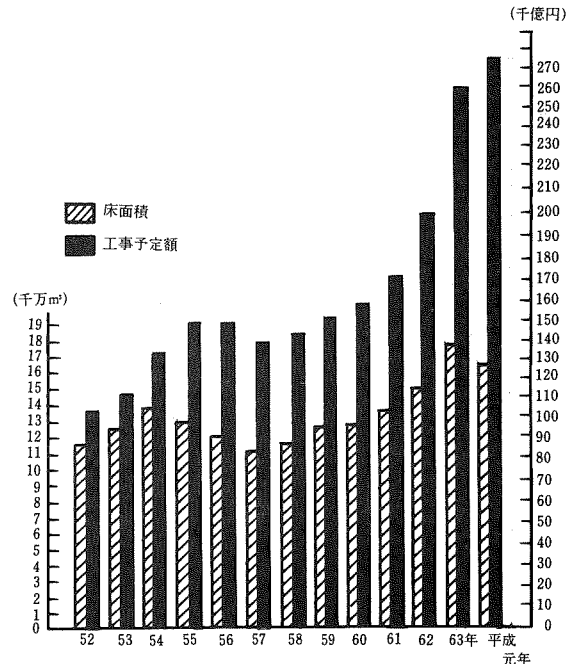


図-2 不燃建築着工総計 1～11月

建築主別床面積				構造別床面積						
公共	民間		木造	不燃建築物 小計	不燃建築物					その他
	会社・法人	個人			鉄骨・鉄筋 コンクリート造	鉄筋 コンクリート造	鉄骨造	コンクリート ブロック造		
32,842 (95.6)	76,761 (95.6)	112,123 (85.5)	90,304 (86.1)	131,415 (93.6)	18,381 (100.3)	49,168 (90.9)	62,644 (94.0)	989 (89.9)	233 (81.8)	
31,268 (95.2)	67,911 (88.5)	103,574 (92.4)	80,304 (88.9)	122,445 (93.2)	17,508 (95.3)	45,376 (92.3)	58,423 (93.3)	876 (88.6)	269 (115.5)	
26,792 (85.7)	62,787 (92.5)	106,063 (102.4)	81,384 (101.3)	114,258 (93.3)	15,226 (87.0)	41,213 (90.8)	56,672 (97.0)	806 (92.0)	341 (126.8)	
24,179 (90.2)	67,569 (107.6)	97,533 (91.9)	71,526 (87.9)	117,755 (103.1)	16,960 (111.4)	40,375 (98.0)	59,475 (104.9)	663 (82.3)	282 (82.7)	
22,073 (91.3)	75,135 (111.2)	98,930 (101.4)	70,970 (99.2)	125,168 (106.3)	16,307 (96.1)	41,817 (103.6)	66,071 (111.1)	618 (93.2)	355 (125.9)	
20,464 (92.7)	78,192 (104.1)	100,907 (102.0)	70,503 (99.3)	129,060 (103.1)	17,747 (108.8)	42,576 (101.8)	67,918 (102.8)	527 (85.3)	293 (82.5)	
20,527 (100.3)	79,606 (101.8)	107,549 (106.6)	73,679 (104.5)	134,003 (103.8)	20,316 (114.5)	44,339 (104.2)	68,520 (100.9)	515 (97.5)	314 (107.2)	
21,040 (102.5)	89,768 (112.8)	126,419 (117.5)	85,081 (115.5)	152,146 (113.5)	23,168 (114.0)	52,057 (117.4)	76,087 (111.0)	498 (96.7)	336 (107.1)	
21,658 (102.9)	109,472 (121.9)	124,601 (98.6)	82,724 (97.2)	173,056 (113.7)	26,547 (114.6)	55,104 (105.8)	90,580 (119.0)	481 (96.6)	342 (101.8)	
3,937 (90.1)	26,524 (119.4)	26,932 (95.5)	18,322 (97.4)	39,062 (108.6)	6,336 (108.4)	11,022 (95.2)	21,521 (112.1)	74 (78.7)	109 (160.3)	
4,782 (98.1)	31,590 (114.0)	34,737 (105.3)	24,074 (110.8)	47,035 (107.3)	7,021 (101.6)	13,026 (90.8)	26,760 (119.5)	137 (130.5)	91 (115.2)	
6,804 (99.5)	32,195 (108.6)	32,646 (99.2)	22,206 (102.2)	49,396 (103.6)	6,467 (95.4)	14,945 (95.2)	27,739 (111.2)	156 (91.8)	89 (93.7)	

熟さ等による危険性をはらんでいる分野でもある。

基材別に見ると、まず、シリコン系はメタルカーテンウォール、SSG構法の増加に見られるガラス用途の堅調を背景に、昨年は一昨年に続き2桁伸びを維持する見込で、特に1成分系は前年同期比(1～9月、以下同)22.1%増と好調である。一方、やや低調の2成分系は、汚染や化粧性に対するユーザーの不信を拭うことが相変らずの課題である。

変成シリコン系がここ数年同様に30%前後の突出した伸びを見せ、1成分、2成分の合計ではポリサルファイド系を上回ることが確実と見られる。タックの改良などにより適用範囲も拡大、1成分系はパネル住宅等へのルート需要が伸長し前年同期比22.2%増、2成分系も41.8%増を示した。

ポリサルファイド系は、近年の安定成長を受継ぎ5%弱の伸びと見られる。前年同期比は3.5%増だが、中低層建物での実績と安心感はユーザーに広く浸透しており、1成分系も含めさらに需要を拡大していく可能性もあると言えよう。

弾性基材の中ではマイナーな存在のアクリルウレタン系だが、1～9月実績は昨年と全く変わらない。被塗装性とコスト面の有利さがユーザー層に徐々に浸透しつつあるので、今後が期待される。

物量面では弾性基材の出荷量の約40%を占めるのがポリウレタン系で、昨年も10%前後の底固い伸びが見込まれている。相対的に安価で受入れられ易く、RC造の塗装目地に定着、また、土木分野での適用も多い。さらに耐候性に優れる1成分系もプレハブ住宅やサイディング目地に浸透しており、本年も期待される場所である。前年同期比では1成分系が19.6%増、2成分系が7.5%増を示している。

価格と作業性のメリットならびに好調なALC需

要を背景に着実に伸びているアクリル系だが、昨年は前年同期比で5.0%増にとどまっている。ALC目地にはポリウレタン系などの進出もあり本年の動向が注目されよう。

このほかでは、ブチルゴム系、油性系がそれぞれ6.5%減、8.8%減と好調な弾性系とは裏腹な結果を示し、弾性系への転換が更に進んでいることがわかる。また、新基材である変成ポリサルファイド系の1成分系シーリング材が、上市メーカーも徐々にふえ、パネル目地を中心に実績をあげつつある。現在改正作業中のJISで追加規定される見込で、適材適所の中での位置付けなど本年が注目の年となりそうである。

一方、施工技術面を見ると、専門工事業団体である日本シーリング工事業団体連合会が今春にも全国8地区協を構成員とする組合連合会として法人化される見込である。施工技能はもとより、後継者の育成、体質改善など多方面にわたる事業の充実化が期待される。また、当工業会も参加した建設省官民連帯共同研究「シーリング防水の改修設計・施工指針・同解説」の成果が今春より普及活動にはいる。改修シーリング材の耐久設計など改めてシーリング構法・技術の認識向上が期待される場所である。このほか建設省建築工事監理指針平成元年版の発刊、改正JISの告示など新たな展開が見込まれよう。

改・補修需要も含めユーザーニーズの多様化・高度化は決して止むものではなく、その要求に応えるものはシーリング技術の信頼性以外の何ものでもない。種々の技術成果をハード面に反映し、各種構成部材をも包含したシーリング構法として揺るぎない技術を確認・定着させていくことが我々の使命と考える。

# 注目の的！

## JIS 耐久性区分 9030 に合格

### 高性能一成分形ポリウレタンシーラント



JIS A 5758  
PU-1-9030-A-N  
許可番号 386031

# AUTONSEALER 101A



- 特長
  - 一液ですので、計量、混練、脱泡などの手間がいりません。
  - モジュラスと伸びとのバランスが良く、振動伸縮に対する追従性が優れています。
  - 多くの被着体に対し非常に優れた接着性を持っています。
  - 硬化後、各種塗料による塗装が可能です。
  - 耐候性、耐熱耐寒性、耐水性、耐薬品性に優れ、長期にわたり高性能を維持します。
- 荷姿
  - カートリッジ (320ml) 25本入りカートン箱
  - ミニペール缶 (4ℓ) 2個入りカートン箱、ペール缶 (12ℓ)
- 色
  - グレー、ホワイト、アイボリー、アンバー

製造元

### オート化学工業株式会社

東京都港区西新橋 2-23-1 ☎ (03) 437-3482(代表)  
大阪市淀川区東三国 1-12-15 ☎ (06) 396-1421

発売元

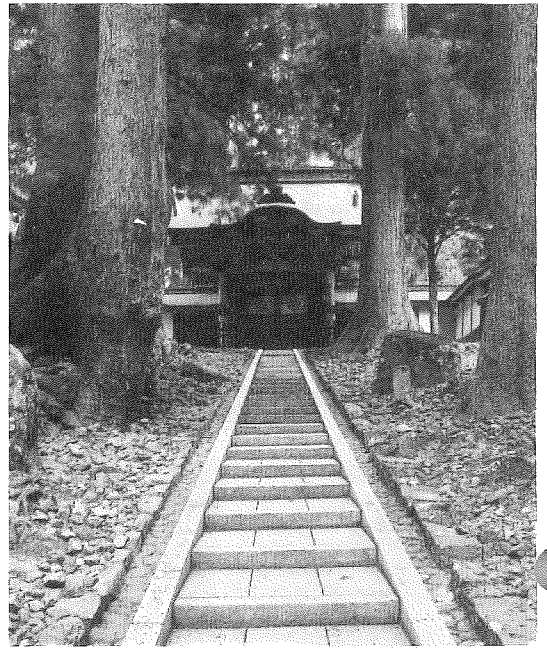
### 株式会社 岩田商会

札幌	011-741-3302	名古屋	052-231-8591
仙台	022-266-1007	大阪	06-356-1121
東京	03-438-0511	広島	0822-49-7642
長野	0262-93-4328	福岡	092-472-0235
浜松	0534-64-6331		

## 永平寺

加藤 正守

早口に三黙を説く日短か  
 一塵もなき廻廊に冬陽射す  
 韋駄天を祀りし庫裡の小春かな  
 燈籠も冬構へして影をひく



深山幽谷に囲まれた永平寺は、七堂伽藍を中心に大小七〇余棟の殿堂楼閣が建ち並んでいる。寛元元年(一二四三年)、道元禅師によって開山されたもので、曹洞宗の大本山である。山門の左右の柱には次の聯を掲げ、求道者の入門の心得を提起している。

家庭厳峻不容陸老従真門入。

鎖鑰放閑遮莫善財進一步。

参詣者は傘松閣に案内され、ここで若き雲水が永平寺の歴史、機構、雲水たちの生活などを早口に説明してくれる。傘松閣は、総檜造りの大広間で、その格天井には川合玉堂、伊藤深水らの日本画家によって花鳥の彩色画が描かれている。一名「絵天井の大広間」と呼ばれている。

三黙道場とは僧堂、浴室、東司のことで、ここでは一切の私語が禁じられている。僧堂は、修行の根本となる坐禅、打眠、二時(小食、中食)の粥飯をとる堂で、文殊菩薩もんじゆが祀られている。浴室は、いうまでもなく入浴場のことであるが、入浴は佛法に従い身心ともに清浄を心がけて沐浴するのである。「沐浴する者千人なりとも、その湯浄きこと元の如し」という心得もある。水印三昧によって悟ったといわ

れている跋陀羅菩薩だつたらが祀られている。東司は、廁のことで、身心の清浄、国土の清浄を示した「正法眼蔵洗浄」の一節が板書されており、烏菟沙摩明王うあさまが祀られている。

殿堂楼閣は廻廊によって連絡されており、その全長は千五百米にも及ぶといわれている。禅宗では身心内外の塵を拭き浄めることを重視し、廻廊の雑巾がけは一塵も許さざる厳しさがある。特に寒中の素足素手、寒水による雑巾がけは手足が凍りつくような厳しさがある。

庫裡は、厨房のことで、その正面中央には足の早いことで有名な韋駄尊天が祀られている。出来上った食事を暖かいうちに一刻でも早く配するための守護神でもある。弁食を作る人も、その弁食を頂く人も共に三輪空寂、すべてが清浄である。

雪に埋れる永平寺は、廻廊は勿論のこと庭木、燈籠、碑などすべてが冬構えの中に禅の佛法が綿々と続けられている。

雪深く佛も耐えて在しけり

柏翠

(千葉大学建築学科助教)

# 官民連帯共同研究 第一回発表会開催

## 「外装材の補修・改修技術の開発」

### 建設省



共同研究者の紹介

建設省主催の第一回「建設省官民連帯共同研究発表会」が12月7日午後1時より東京・新宿の朝日生命ホールで開催された。同共同研究には当工業会も耐久性総プロに引続き昭和63年度より参加、昨年春に一連の研究作業を終了し報告書を提出している。

当日は、まず、建設省建設技監・萩原兼脩氏が「民間の知識ならびに開発技術と国の研究機関が一体となって共同研究を行う同制度は、昭和61年に制定され、今回が初の発表会となる。研究成果は当初の目的を十分に達成したと言え、建設省としても積極的に活用を図りたい」と挨拶、また、同建築研究所・小泉重信所長も「建研では昭和29年から耐久性に関わる研究・実験等を行っているが、今回は11

社9団体の民間の参加を得て研究開発が行われた。おりしも外壁落下物による重大事故が発生したばかりで、外装材の改良・新工法の開発は大きなテーマとなっている。本研究成果の活用を期待するとともに普及に尽力したい」と述べ、発表会に移った。

発表会のスケジュールは、午後1時15分～2時45分までが土木研究所が研究実施機関となった「路車間情報システムの開発」、午後3時～4時30分までが建築研究所が研究実施機関となった「外装材の補修・改修技術の開発」で、後者の内容は次のとおり。

①共同研究者(後掲)紹介＝建築研究所第二研究部長・楡木堯②補修・改修用材料の開発▷全体経緯＝建築研究所第二研究部有機材料

研究室主任研究員・本橋健司▷可とう性を有するタイル補修用接着剤の開発＝コニシ研究開発第四部次長・喜多惇▷常温アスファルト系屋根防水補修・改修工法の開発＝田島ルーフィング技術研究所開発部長・今井隆良③補修・改修工法の開発▷外装改修工法の開発＝建築研究所第四研究部施工技術研究室長・馬場明生▷GRCパネル被覆改修構法の開発＝旭硝子中央研究所主任研究員・和久井智④調査診断機器の開発▷全体経緯＝馬場明生(前出)▷中性化と仕上げ厚さの測定方法＝小野田リフレッシュ事業本部部长代理・伊部博⑤補修・改修設計・施工指針の開発＝楡木堯(前出)。

なお、当日の発表は、時間の都合上各テーマ機関の発表で研究成果を代表するものではない旨の楡木部長の断わりがなされた。

建研との共同研究者は次のとおり(順不同)。

▷旭硝子▷コニシ▷新日軽▷戸田建設▷日本建築仕上材工業会▷田島ルーフィング▷日本塗装工業会▷ダイフレックス▷日本外壁防水工業会▷アスファルトルーフィング工業会▷樹脂接着剤注入工法協議会▷合成高分子ルーフィング工業会▷低圧樹脂注入工法協議会▷日本ウレタン建材工業会▷日本シーリング工業会▷サンスター技研▷三井東圧化学▷日立化成工業▷小野田▷ケット科学研究所。

なお、研究成果であるシーリング防水の改修設計・施工指針につ

いては、建築技術5月号に概要が掲載される予定。



# 「土木用シーリング材」 技術勉強会開催

## 約100名が参加



会場風景



大石氏



角田氏



渡辺氏

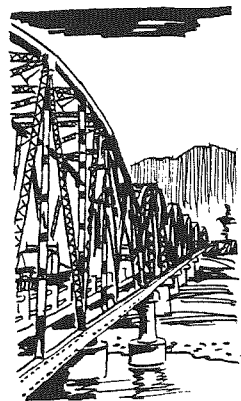
当工業会では、昨年に続き2度目のシーリング技術勉強会を11月21日午後1時より東京・千代田区大手町の竹橋会館で開催した。

今回のテーマは「土木用シーリング材」。専門分野より研究者を講師に招き、会員・賛助会員ら聴講者約100名が参加し盛況となった。

当日は、まず、西沢順之助技術委員長が挨拶に立ち、趣旨ならびに技術委員会の活動概要を説明、「相当量のシーリング材が使用されているのは確かだが、あいまいな部分が多い土木分野。技術的解説が主体となると思うが大いに参考にしたい」と述べ、本題に

移った。講習スケジュールは次の通り。

▷「鉄道橋梁用シーリング」(講師=大石不二夫氏・(財)鉄道総合技術研究所主幹研究員)▷「土木、建築における新しいニーズとシーリング材料」(講師=角田知己氏・大成建設技術研究所主席研究員)▷「コンクリート二次製品の目地処理」(講師=渡辺敬一氏・日本プレスコンクリート技術開発部技術課長)。内容は大石氏が①鉄道高架橋伸縮目地用弾性シーラント②同補修材料③高架橋防音壁目地用シーリング④無塗装鋼橋用ロングライフ(50年以上)シーラント——について、また、角田氏は、近未来の土木技術の課題である大深度地下構造物のシーリング材などを中心に、さらに渡辺氏は①土木用コンクリート製品・構造物の紹介②主な継手構造③環境④ボックスカルバートタイプでの各種目地試験と結果——などについて詳述し注目を集めた。





## 建設省監理指針発刊へ 検査方法を解説

建設省の建築工事施工監理指針平成元年版が2月上旬に発刊される見込となった。同指針は、建設省建築工事共通仕様書（共仕）の解説版とも言える位置づけにあり、今回の発刊は、昨年共仕改定に伴うもの。

シーリング工事に関連する主な改定ポイントは、共仕で新たに追加規定された「9.4.6検査」について、その検査方法が具体的に詳述された点である。共仕では「硬化、接着などの不具合がある場合は、切取り検査を行う」とあるが、今

回の監理指針では、その方法として、ダンベル状に打抜いたサンプルで引張試験を行う旨明記され、2成分形シーリング材のサンプリングについても具体的な方法が詳述されている。

建設省では、今回の改定版発刊に伴い、2月下旬に東京、大阪で説明会を開催する予定で、他地域についても4月以降に順次開催し、平成2年度着工分からの全面普及を図る方針にある。

## 新年会を盛大に開催 梧原氏(建設省)が特別講演



特別講演会

当工業会恒例の新年会が1月17日午後5時より東京駅八重洲口の「ホテル国際観光」で開催され、内需好調の活気を帯び会員一同意欲新たに新春の門出を祝った。

当日は、新年会に先立ち午後3時30分より特別講演会が催され、講師の梧原幸八郎氏（建設省建設大臣官房官庁営繕部監督課工事検

査官）が「官公庁建築の現状と展望など」をテーマに、現状の問題点、要望、課題など熱弁を振った。

また、引続いての新年会では、大谷会長の挨拶のあと官学界をはじめ、工事業団体、販売店などより祝辞をいただき盛大な祝宴にはいった。

## 「K・K会」 ゴルフコンペ開催

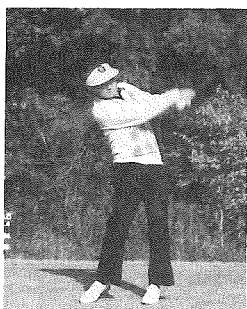
第四回「K・K会」が去る11月24日、快晴、無風のもと、「市原京急カントリークラブ」で開催されました。東工大・小池迪夫先生、千葉大・加藤正守先生の頭文字を戴いた、当会は、当工業会の技術

委員会、検定委員会、広報委員会が、日頃、何かと御指導を賜っているお礼と慰労を兼ねて年2回開催しています。

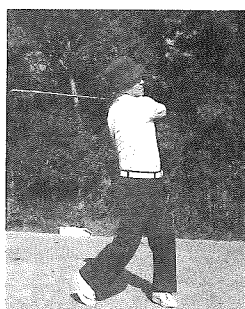
当日は舌戦から始まり、右や左、上や下、川や池にと、苦戦を重ねる大混戦となり、結局、理建工業（株）服部健士委員が、優勝しました。また、ドライビングコンテストは、西沢順之助技術委員長、西川信義委員、篠沢一義委員、滝沢克委員、小林茂之広報委員長らが競い合い、西沢、西川の両氏のブッチ切りで結着がつかしました。飛ばすだけが



スタート前のスナップ



◀ 小池先生



◀ 加藤先生

生甲斐の男達の戦いは、和やかなパーティーで幕を閉じ、次回の開催を約束し合って、散会となりました。今回の幹事役、篠沢委員(東芝シリコン)、井上委員(信越)の御苦勞に心より感謝申し上げます。(広報委員会 記)

「K・K会」に参加して  
技術委員 内海敏博

技術委員会に出席しているうち

に、一度は、参加させていただきたいと思っていた「K・K会」でしたが、今回、ようやく念願をかなえることができました。K・K会が、特に、格式ばったコンペではないと言うことは、日頃の噂話から予想していましたが、先ず、組合せを見て、驚きました。初参加で無名の私が、第1組に抜擢(?)され、しかも小池先生と同じ組でプレー出来ると言う榮譽に浴

し、身も心も震えながら緊張したスタートでした。

幸い、快晴、無風の絶好の天候に恵まれ、非常になごやかな雰囲気、本当にプレーを満喫することができました。終ってみれば、私としては、出来過ぎの成績で、今後、相性の良いコンペになりそうです。

又、パーティーでは、失言、放言も何のその、全く気にしない破天荒な状態で、一時はどうなるかと心配しましたが、さすがは紳士の集まり、最後は、きちっと閉幕しました。

いろいろお世話して下さいました幹事の方々、本当にご苦勞様でした。愉快的な皆様方ありがとうございました。

シリコン系シーリング材 JIS A 5758 耐久性区分9030適合品

# エマシーシーラント

耐火2時間  
無汚染タイプ

製造元

日東紡ビル  
目東紡コンパウンド株式会社

本社/〒108 東京都中央区日本橋富町9の10(種村ビル)

TEL. 03(669)1007(直)

・大阪・名古屋・札幌・仙台・広島・福岡

発売元



化研マテリアル株式会社  
KAKEN MATERIAL LTD.

〒105 東京都港区西新橋3-8-1(第2鈴丸ビル)

TEL. 03(436)3011代

FAX. 03(433)3914

# JIS A 5758建築用シーリング材 改正原案調査作成経過報告

## 技術委員会

現在の JIS A 5758 “建築用シーリング材” は、1986年に改正され3年を経過したにすぎませんが、その間新しいシーリング材が市場に導入され実績がついてきたこと、国際化がさらに進んだことなどから、今回本規格を改正し、新しい種類を追加規定するとともに試験方法等について実状に合わせた見直しを行うことになりました。JIS 改正原案に規定すべき事項としては

1. 種類；変成ポリサルファイド系を追加する。
2. 試験方法；耐久性試験後の判

定方法及び汚染性試験方法の見直しを行う。

3. その他；実情に合わせ全体的な見直しを行う。  
(外国規格との整合性等)

水 準；国内の平均的水準以上とする。

があげられています。

東京工業大学工業材料研究所小池迪夫教授に主査をお願いし中立者側9人、使用者側6人、生産者側6人計21人で委員会を構成し、平成元年8月より改正作業を開始

しました。現在まで本委員会2回、小委員会3回を開催し、ほぼ案の骨子が固まった段階にあります。その内容は変成ポリサルファイド（記号MP）の1成分形を追加すること、スランプ試験に横目地を想定した試験方法を追加すること、引張接着性にISO形を使用しても良いこと、その他表示の見直し、語句の訂正等です。耐久性試験後の判定方法及び汚染性試験方法につきましては準備不足もあり原案に規定することはできませんでした。これらは解説に詳しく記載される予定です。

今後のスケジュールは平成2年1月に最後の小委員会を開催し最終案を作成、成文化し2月中に本委員会メンバーの書面審査をいただいで、3月10日答申する予定となっています。

## 会員消息

### 営業所開設

東芝シリコン(株)厚木営業所 所在地＝神奈川県厚木市中町2-10-10光伸ビル 電話0462(23)6707  
所長高井直人氏

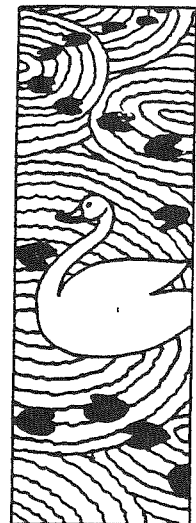
052(262)8171 ボンド第一部  
(262)8172 ボンド第2部(262)  
8173 総務部(262)8174 FAX  
(262)8175

### 社名変更

トーレ・シリコン(株)から「東レ・ダウコーニング・シリコン(株)」に。(英文社名：Dow Corning Toray Silicone Co., Ltd)。住所、電話は従来通り

### 移 転

コニシ(株)名古屋支店 新住所＝名古屋市中区栄5-28-12興亜火災名古屋ビル7F 電話：化成品部

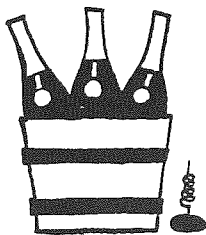


# 会員会社紹介(10)

総務委員会

コニシ(株)

接着剤・シーリング材の総合メーカーである当社は、一方では石油化学製品・エンブラや各種合成樹脂類・複合材・工業薬品類などのいわゆる化成品の専門商社としての一面を持っている。社業としての歴史は化成品部門の方がはるかに古く、明治維新前に創業されたいわゆる大阪・道修町の薬種商までさかのぼることができる。明治の初めには現在の化成品部に通じる薬品類の取扱いはもちろん、ブランデー、ウイスキー等の洋酒



やかん詰め類の輸入販売、更にはまだ珍しかったビールの製造までも手掛け、その後、化学薬品を中心に明治・大正・昭和・平成と各時代のニーズを先取りして発展、現在の化成品部となった。一方、メーカー部門たるボンド部門は昭和27年我国ではじめての木工用酢ビ系接着剤、「ボンドCH」を開発・発売したのが始まり。以来、次々と開発された新製品と共にその商品と需要は飛躍的に広がり、今日では土木・建築、紙工、繊維、自動車・車輛、船舶、電子・電気、プラスチック等のあらゆる産業用から一般家庭用に至るまでをカバーする接着剤・シーリング材の総合メーカーに発展してきた。建築・土木分野では、昭和31年に酢ビベース系接着剤を、昭和35年には合成ゴム系やエポキシ系接着剤及びポリサルファイド系シーリング材を建築現場用として開発・発売、現在ではあらゆる現場に対応する各種樹脂材料を提供するにとどまらず、確かな実績の上に独自のノウハウを加えた樹脂及び無機質材利用による応用工法「BES-TEM」によって調査・設計から施工までをトータルした責任体制を

確立、広く需要に応じている。当社の経営方針は創業以来「積極・堅実」。今後とも“「堅実且つ積極的な経営」と「品質第一」を信条として絶えず新しい価値の創造をめざし、社会の発展に貢献する”ことを経営理念とし、「高品質にして、使いやすく、安全な商品と工法」を生み出すことをモットーに新たななる努力を重ねていきたい。

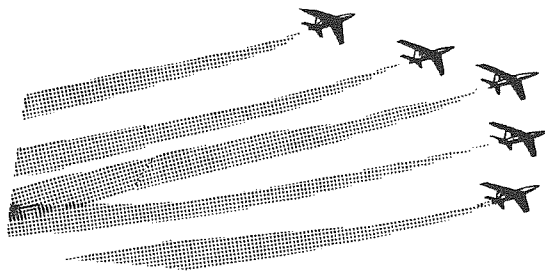
サンスター  
技研  
株

歯磨、シャンプー、化粧品にイメージされるサンスターグループにあって、特異な産業資材メーカーとして位置づけられるサンスター技研は、昭和16年自転車用ゴム糊を製造・販売したことにはじまります。

近年の産業構造の変化と技術革新、国際化に伴い産業界、マーケットが求める技術課題は、ますます高度で複雑にからみ合ったもの

となっています。

このような状況にあつて、サンスター技研は、高分子化学を基礎にした合成・配合・加工技術でトップクラスの品質を持つ工業用接着剤、シーリング材、コーティング材を生産・供給する「化学品事業部」、コーティング技術をベースにした合成皮革や塩ビレザーなどのファッション用素材と成形加工が可能な自動車内装表皮材用高発泡塩ビシートをはじめ、新材料展開をすすめる「化成品事業部」、昭和57年に加わった金属加工事業部の3事業部体制による「三種の専門」運営で、あらゆる産業に、幅広く貢献しています。中でも、化学品事業部のシーリング材製品は昭和42年に導入したポリサルファイド系シーリング材を中心に、



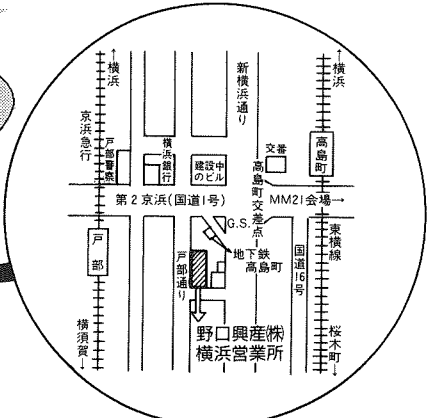
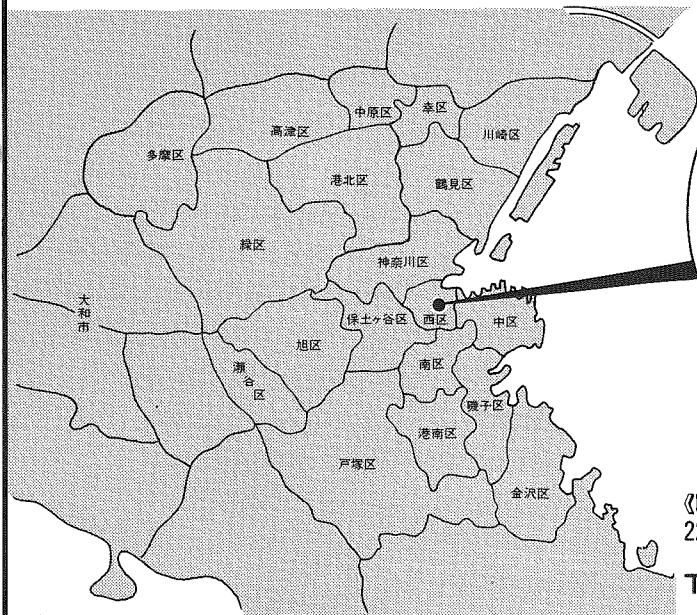
ポリウレタン系、変成シリコーン系などのめざましい実績と順調な推移によって建築業界で大きく評価されています。また、建築・土木用シーラント、エポキシ関連高機能接着剤、ビル外壁のリフォームシステムさらにはそれらの施工の機械化やロボットシステムの研究・開発など周辺マーケットに対しても積極的に展開しています。

1989年7月30日、「太陽のように、星のように、宇宙に、そして地球になくってはならない存在でありたい、そして世界の人々との愛

と調和をもって貢献してゆく企業でありたい」という願いの実現に向つて、第3の創業と位置づけ、新しいCIプログラムを導入しました。21世紀に向けて、グローバルな視野で次世代に飛躍する——新しいCIマークのもと信頼を基本に、いま求められる技術を現実のカタチにして皆さまにお届けできるよう全社挙げて努力してまいりますので、一層のお引立てをお願いいたします。

## ●野口興産株式会社●

# 横浜営業所



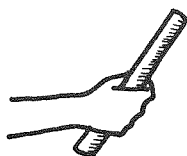
- 市営地下鉄 高島町より徒歩1分
- 東横線 高島町より徒歩3分
- 京浜急行 戸部駅より徒歩5分

### 《所在地》

220 神奈川県横浜市西区戸部町7丁目220番  
粕川ビル1階

Tel. 045(324)2320

Fax. 045(324)2190



リレー隨筆  
その二

## 一少年の体験

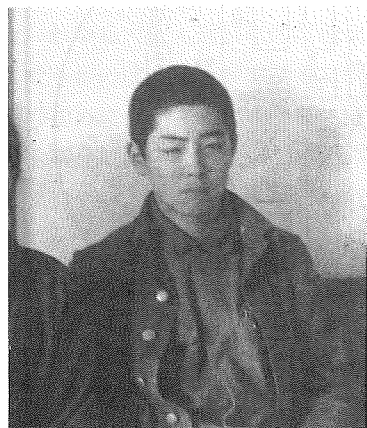
平野英作



普段であれば満天の星を仰ぐ空に今日は一点の星もなく、真っ暗な闇の中で四百人を越す老若男女は、これからの不安におののきながら言葉もなく線路に近い叢に座り込んで群がっていた。何の情報もなく、とにかく夜明けを待つ以外に動くに動けない集団は、それぞれが母は子を強く抱き、父は前途への悲壮感に包まれながら無言のまま家族を抱えるように座っていた。

その時、誰かが「北の方に火の手が見えるぞ。」と怒鳴った。

総立ちになった。少年も跳び上



昭和21年3月 新京にて引揚用に撮影。満州における唯一残った写真(眼病で眼帯を外して)

がって闇夜に目を凝らした。真っ暗な遠い地平線上の一点が赤々と燃え上がっているのが見える。

「あれは仙洞開拓団の方角だ。ソ連軍は近いぞ。」

悲鳴に近いどよめきが起こった。

「線路の近くに居ては危ない。少しでも南の方へ逃げよう。」

闇の中に混乱が起こった。家族を探す声、荷物を探す声、幼児の泣き声、女達の悲鳴、怒鳴る声が阿鼻叫喚をかもし出した。

遅れまい、残されまいと暗闇に消える人々の中で幼児を抱えた家族は途方に暮れ、それでも取り残されまいと長蛇の列をつくって消えていった。

少年の家族が夜明けを待っている間に集団は消えていた。朝になって声を限りに叫んでみても、少年の家族は他の二家族を見つけただけで本隊の行方も分からないまま曠野にぽつんと取り残されていた。

16歳の少年は突然の変化に暗い、重い前途を予感して戦慄が止まらなかった。

時は昭和20年8月13日の朝、場所は満州の東部国境に近い牡丹江

市の郊外(樺林)である。幅二百米を越す大河(牡丹江)の鉄橋の向こうには、無人となった巨大なパルプ工場と社宅があった。

少年は、一年前まで神戸の中学で剣道の寒稽古、グライダー訓練、勤労働員、地域防空演習などで活躍していたが、陸軍士官学校の受験で胸部疾患が発見され、休学して満州に渡り両親の許で静養中であつた。

戦局の悪化を見て、両親は母校への復学を許さず、牡丹江中学へ転校手続きを済ませて約三週間目の出来事である。

家族は逃げた。雨の中、泥道をひたすら歩いた。途中で裸馬を買い5歳の弟をしがみつかせ、3歳の妹は両親が抱え、少年は荷物を背負って無人の大地を歩いた。どこまで歩けば日本人に会えるか。どこまで歩けば鉄道にぶつかるのか。南へ、ただ南へ。

腰まで漬りながら泥水の小川を何度も突っ切り、食物もなく何十km歩いたことか。

「どこまで続く泥濘ぞ  
三日二夜も食もなく……」

家族は生き延びた。

ふらふらの中で、ようやく出会った散開中の日本軍に励まされ、名も知らぬ駅に辿り着いて、台車だけの最終避難列車に辛うじて間に合ったのが幸運であった。

どの位眠ったか。足の痛みで目が覚めて見ると水にふやけた足は靴に食い込んで、紐を解いても引っ張っても脱げなかった。

助かった。とにかく牡丹江から遠去かっている。しかし、日本は余りにも遠い。汽車はのろのろと走っていた。

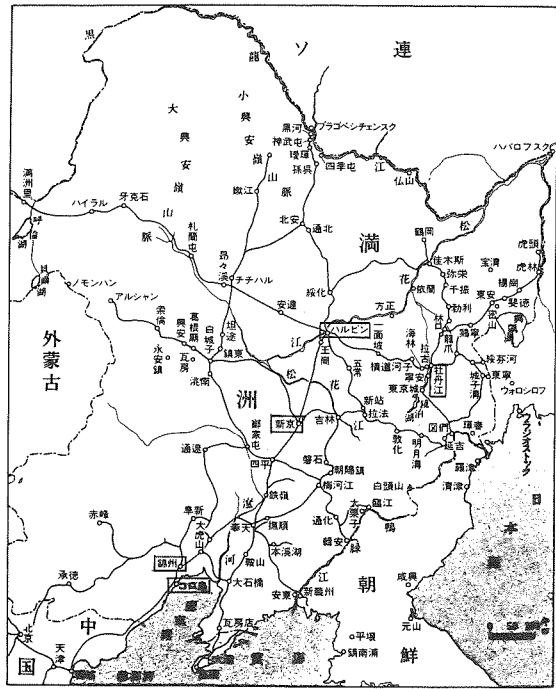
(後で判ったことだが、ソ連軍戦車は13日には我々の居た所から12kmの地点にまで迫っていた：危機一髪であった。)

ハルピン駅で、日の丸に代って はためく青天白日旗(中国国旗)と満人の態度から日本の敗戦を知り、父の決断で列車襲撃を避けながら新京(長春)の支店に向かった。

(先行した本隊がハルピンに止どまっていたとも知らずに。)

新京での一年余は、多勢の日本に混じって関東軍の食糧倉庫を襲い、小麦粉を担いで帰ると言う一生に一度の泥棒から始まった。明けても暮れても“すいとん”が続いた。

ソ連軍の奪略と暴行、国府軍の進出、中国八路軍(共産軍)の進攻による市街戦、同撤退と国府軍の再進出などの中で、少年は使役に狩り出されながら、父と豚肉の露天商を開いて家族を飢えから守ることに明け暮れた。



満洲全図(昭和19年)

母は発疹チフスに罹り、虱との 百十数名が帰らぬ人となっていた。

限りなき戦いも続いた。

こうして錦州、胡蘆島を経て、昭和21年12月、九州佐世保に帰って来ることができた。

「国敗れて山河在り  
城春にして草木青し……」

日本はあった。静かにたたずんでいた。松の緑が色濃く我々を迎えてくれた。

「敗戦日本はどうなっているのか。満州での若い女は坊主頭になり、男装して身を守っていたのだが」

国土そのものも消えてしまっているのではないかとさえ思っていたほどの不安は消えた。

今、ようやく帰ってきたのだ。

深い安堵感と疲労感がどっと襲った。

遠く長い道程であった。

我々の四百人を越す人々の中で

少年は今になっても、あの苦難とその中であつた幸運を思い出す。

1) 満州に行つてなければ、神戸で下宿先の人と同じく空襲で死んでいただろう。

2) ソ連軍の侵攻が3日遅かったなら、南満州へ動員されて居て、家族と再会できただろうか。

3) 若し、本隊と行を共にしてハルピンに居たとしたら、難民收容所の悪条件と発疹チフスの大流行、ソ連軍の男狩りによって本隊の人と同様にもっと悲惨な結末を迎えていたかも知れない。この点、父の判断は正しかったことになる。

4) さらに、失明寸前になった右目は、新京に居たため名医によって快癒した。あのような食糧事情の中で、豚肉屋を開き、残った脂身を山のように食べさせられた

のも快癒の一因だったようだ。もしかすると、これも父母の深謀遠慮だったような気がする。

その父母も今は亡い。

戦後は遠くなった。

記憶が遠のく中で中国残留孤児や残留婦人の身元確認は難しくなっている。

それだけ少年も老いた。

先日、一通の葉書が舞い込んだ。

「会社に在籍していた〇〇青年の当時の生活や、逃避行の途中でどうなったのか。どんな小さな事

でも知りたい。」とあった。

少年の父が存命と考えてのようであった。

その日の内に電話をかけた。

遠くの電話口に出た老婦人は「お父上の遺品の中にでも手掛かりはないでしょうか。」と切々と訴えた。その青年は、その昔、老婦人の恋人のようであった。

突然、44年前に引き戻された少年は、忘れ得ぬ人に今も想いを寄せる老婦人の悲しみを深く、切なく受け止めて、電話口で絶句した。

戦後は、まだ終わっては居な

った。

少年は、今も彼の体験を通して戦争の悲惨さを知るが故に、彼の願いを“平和”に凝縮させている。

(後記) 会長の軽妙洒落な随筆に恐れを抱き、と言ってお指名なので、少年期の体験を綴ってみました。多少でも、少年の傷跡と願いを感じていただければと思います。

バトンは大泉副会長にお渡し致します。

(日本シーリング工業会副会長：昭石化工(株)技術顧問)

## 本年は 駆けて 駆けて 駆けます！

### シーリング材

シリコーン1液2液 変成シリコーン  
ポリサルファイド  
ウレタン1液2液  
アクリル フチル 油性

### バックアップ材

角型 丸棒 超硬質 特殊形状  
ゴムグレイジングロープ  
マスキングテープ  
他副資材

## 物流機能更に充実

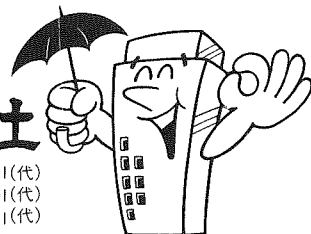
- ★防水吹付材・エポキシ注入材
- ★エポキシライニング材・防水塗床材
- ★ウレタン防水材・シート防水材・伸縮目地材

豊富な在庫で迅速納入



## フヨー株式会社

本社・建材営業部 / 千130東京都墨田区業平5-5-6 Tel. 03(626)3371(代)  
大阪支店 / 千532大阪市淀川区宮原5-6-10 Tel. 06(395)0201(代)  
仙台営業所 / 千982仙台市太白区富沢3-28-30 Tel.022(244)4911(代)  
横浜営業所 / 千248横浜市保土ヶ谷区東川島町62-1 Tel.045(373)7234





## 日本科学技術情報センター検索サービス情報

日本シーリング工業会として、リクエストSDIサービスを受けています。  
フルコピーは同センター各支所、支部へお申し込み下さい(有料)。

[0002] <8371088> JICST COPYRIGHT  
密封型及び非密封型収縮目地の差異によるポルト  
ランドセメントコンクリート舗装の挙動

Portland cement concrete pavement performance as in-  
fluenced by sealed and unsealed contraction joints.  
SHOBER S F <Wisconsin Dep. Transportation, WI, USA>  
B663A Transp Res Rec NO. 1083 PAGE. 7-12 '86  
<J> <A1> <EN> <USA> <写真3表2参12>

Wisconsin 道路局は1974年、標題の舗装(PCC)全体挙  
動が目地間隔及び目地部が密封か否かによりどのように影響  
されるかを評価するため、シーラントの研究を開始した。  
PCCは9"厚の鉄筋コンクリートとしシーラントを5種類用  
意し、目地間隔は20", 40", 60", 80"の4タイプとした。試  
断面は22ヶ所、このうち8ヶ所は非密封、14ヶ所の密封部  
は10年間シールシステムを維持のため定期的に取り換えた。  
その結果ある種のシーラントは10年間耐えたが、むしろシー  
ラントのない目地の方が挙動は秀れた。目地間隔は狭い方が  
よい挙動を示した。

RC04040G <625.82/.84>

コンクリート舗装;ポルトランドセメント;目地;シーラ  
ント;舗装構造  
(収縮目地)

[0001] <8469541> JICST COPYRIGHT  
建築用シーリング材の概要  
寺内伸<鹿島建設 鹿島技研>  
Y020A ファインケミカル VOL. 17, NO. 11 PAGE. 5-13 '  
88

<J> <B2> <JA> <JPN> <写真7表2参5>

シーリング材の建築分野での利用状況、それらの要求性能、  
今後のあり方、要望などに関して述べた。要求性能について  
は、使用過程ごとに分けて説明した。今後は、目地の種類の  
増大に対して、接着性に優れたプライマーやシーリング材の  
選定法の確立、耐久性に優れたシーリング材、ストラクチュ  
ラルシーラント、万能プライマー及び湿潤面プライマーの開  
発が期待される

YK02000Q, RA06050K <668.3:620.1, 691:<<69.02+.05  
+699.8>>>

建築材料;シーラント;必要条件;目地;物理的性質;充  
填;製品開発

[0001] <8511298> JICST COPYRIGHT  
矩形断面をもつシーリングジョイントの耐疲労性  
に及ぼす形状・寸法の影響

田中享二, 小池迪夫, 橋田浩<東京工大 工材研>; 岡本肇<竹  
中技研>; LIM M S <東京工大 大学院>

F393B <0910-8025> 日本建築学会構造系論文報告集 NO.  
390 PAGE. 10-17 '88

<J> <A1> <JA> <JPN> <写真15参10>

シーリングジョイントの最も基本的な形状である矩形断面に  
ついて、耐疲労性の観点から形状・寸法の持つ意味を明らか  
にし、合理的な目地深さ決定の考え方について検討した。次

の結論を得た。1)疲労によりキレツの発生する位置は、シー  
リング材の変形状態、特にジョイント縮小時の形態と密接な  
関係がある、2)またシーリング材にキレツの発生する位置は、  
引張応力と圧縮応力が交互に生ずる部分である、3)断面につ  
いては、そのプロポーションが大切であるが、目地深さ決定  
の目安とされていた JASS8の形状係数の範囲では、幅広目地  
を含む広範な目地領域には不十分であり、目地幅増加率に比  
べて目地深さ増加率は少な目の方が耐疲労性の観点からは望  
ましい

RB03050S, RA06050K <69.026/.029, 691:<<69.02+.05  
+699.8>>>

疲れ強さ;疲れ試験;シーラント;サイズ効果;形状効果;  
疲れ亀裂;断面;目地;光弾性試験;応力分布;応力測定

[0001] <A88231014> JICST COPYRIGHT  
目地と充填材 1988年目地充填技術の位置付  
Fugen und Dichtstoffe: Stand der Fugenabdichtungste-  
chnik 1988.

GRUNAU E

D894A <0005-6634> Baugewerbe VOL. 68, NO. 20 PAGE.  
23-26 '88

<J> <B2> <DE> <DEU> <写真12>

目地充填材料は、1968年頃から使い始められ現在では高い技  
術レベルに到達して、高層住宅の外壁に使ったポリサルファ  
イド系材料等30年間の品質保証が可能になってきた。一方最  
近市場に出回る安価なプラスチック系充填材のうち、7~10  
年で硬化し亀裂が発生したポリウレタン、カビの生えたシリ  
コンコーキング材等適正な材料の選択が必要である。

RA06050K <691:<<69.02+.05+699.8>>>

目地;充填材料;プラスチック;シーラント;選択

[0002] <9036766> JICST COPYRIGHT  
上部構造用防水充填材の耐久性

Lebenserwartung von Dichtstoffen im Hochbau.

GRUNAU E B

D993A Elem Bau VOL. 25, NO. 5 PAGE. 12-15 '88

<J> <B2> <DE> <DEU> <写真1表3>

建築部材間に防水性を持たせ、目地処理する充填材は、DIN  
18540に規定されており、弾性目地、部材間接合目地、接続目  
地、二重ガラス等の窓サッシ目地、水回り目地、さらに地下  
室、水中にも使用される。50年代初めからパテ材にかわって  
使用され、現在2/3が外壁、1/3が窓回り用、1958~65年と1970  
~75年に施工された物件の損傷頻度、損傷原因等を追求し耐  
用年限について論じた

RB01032Q <699.82>

防水性;目地;充填材料;サッシ;外壁;損傷;耐久性;寿  
命;シーラント

### ●本部事務局だより

昨年国内では消費税の導入、参院の保革逆転、国外では東欧諸国の体制変革、天安門事件、パナマ出兵など激動の一年でした。一方国内経済は極めて活況に推移し、各企業とも好収益をあげております。その結果、暮のボーナスも大きくふくらみ、一昨年末の自粛ムードの反動か、ボーナス景気に沸く歳暮風景は大変なもので、TVでロイヤルドルトンのディナーセット4000万、純金のパター300万の商品が紹介されたのには驚きました。何と太平洋で金あまりの日本なのでしょう。

省みて昨年の工業会は如何なものでしょうか。とにかくシーリング材は建設ブームに伴い可成の数量が出たようですが、懐にいくら残ったかを考えると、淋しいように思えます。それはさておき、工業会の活動状況としていくつか特筆すべきものがあります。

総務委員会では、役員任期を2年とする会則の改正、役員選挙内規の制定が承認されました。また会員の連繫強化と外部からの問合せの便を図る目的で、会員名簿を作成、刊行いたしました。

調査委員会では、消費税施行に対処し、会員でカルテルを結成すると共に、各地区ディーラーのカルテル結成に協力いたしました。カルテル結成の効果はともかくとして、各地区にディーラー会が生れたことは大きな成果と思います。また従来工業会で実施していた工業統計を通産省に移管し、通産主導の統計に改めました。今後より充実した統計調査になることと思えます。

技術委員会では、63年度に参画

した官民共同研究の「シーリング防水の補修・改修設計・施工指針」を完成、答申を終わりました。昨年の課題としては、今秋ワシントンで開催されるASC国際会議への参加決定に伴い、発表論文の作成を急いでおりますし、JIS A 5758改正の委託を受け、今年3月答申に向け作業を進めております。

広報委員会では、リレー随筆を新企画とし、その第一稿が会長より寄稿され「シーリングニュース」37号に掲載、好評を頂きました。

検定委員会では、2月に実施する管理士検定講習会の準備をほぼ完了いたしました。今回も極めて多数のご応募を頂き、全員を受入れしきれず、止むなくご遠慮願う方々が出て申訳なく思っております。次回には早めにお申込み下さるようお願い致します。

今年も既に1月が終ろうとしております。

景気も引続き堅調と思われませんが、シーリング材業界は如何でしょうか。お互の壁を取り除いて、会員相互の協調の下に信頼を深め、稔りある明朗で活発な業界に成長することが大きな命題であると思えます。

### ●北海道支部の動き

11月の思いがけない暖気で、最盛期を迎えていた工事業界も大いにはかどったことと思えます。しかし、12月8日に大雪が襲来、又中旬には寒気も加わり、漸く、冬の北海道らしくなって来ました。いよいよ年末にかけ工事も追込みに入っています。

支部活動を報告しますと、まず11月中旬に材工合同現場パトロールを例年通り行いました。(地区＝札幌、恵庭、旭川)又、日乾防北

海道支部との共催による「寒冷地に於けるサイディング材施工について」の講習会(開催＝平成2年1月下旬、地区＝旭川、帯広)準備のため打合せ会議を行っていません。本件については、昨年に引続き実施するもので、内容的にも、より前進すべくメンバー(7社)一同仕上げに向けがんばっています。(12月15日 支部長)

### ●仙台支部の動き

この支部だよりが皆様のお目に留まる頃は、東北地方も冬の真ただ中、一番寒さの厳しい季節(とき)と思われれます。

1年というのは本当に早いもので、昭和天皇の崩御で始まった平成元年は、社会的にも経済的にも様々な話題を我々に提供し、アツという間に平成二年の門へすり抜けてしまいました。我身を置く東北も、経済的には中央の大都市のスピードや変化とは、質的に大きな差がみられるものの大きく膨脹しつつある様に思われれます。東北の建設業界も長雨の上がった昨年の七月以降は、各県各職場で人手不足が顕在化し、工期のズレが発生、あちこちで「パンク寸前」とか「身体がもたない」……等悲鳴にも似た声が聞かれました。正に労働力不足による「労働力問題」という大きなテーマを抱えながら平成二年へとページがかわりました。全ての商品、製品そして完成品に対して、その出来映えのすばらしさに驚愕し関心が集まる昨今、物事の本質をみつめプロセスにも注意を促し配慮する心に、何か大きなテーマの糸口が隠されている様な気が致します。平成二年も「自然との闘い」、「工期との闘い」、「コストとの闘い」、「質と

の闘い」が、くりひろげられます。

(執筆代行 生出幸雄)

## ●東京支部の動き

今年は1月早々「昭和天皇崩御」という悲しいニュースからのスタートでした。

昨年12月に消費税導入が決定し、4月1日施行に向けて不安ばかり募る中で、KSDM会を3月に発足させ、関係各位の御努力により、4月以降、円滑なる転嫁推進が図れたことを、この誌上をお借りし感謝の意を表します。

この1年間を振り返ると、昨年同様の建築ブームで業務は多忙を極めており、特に工（東シ協）側では、人手不足により受注活動に対して更に慎重な対応を余儀なくされております。今後更に深刻度を増す事が予測され、関係団体の支援が急務と思われまます。

この多忙の中で、支部親睦ゴルフコンペを11月7日、雨中の久邇カントリークラブで挙行し更に親睦を深めることができました。

残すところ、あと2週間となりましたが、来年も今年同様多忙な1年だと思われまます。切に願うのは、今年よりも更に材・販・工互に利益を享受出来る1年となる事を望んでおります。

(12月18日記)

## ●名古屋支部の動き

今年も温暖な中で、日本まるごと恙無く1年を終ろうとしています。振り返れば、国際的には大きな変革の波が起き、さらに増幅しそうな傾向にあります。又国内では永かった昭和から平成へと年号は改められましたが、経済の活況は依然として継承され、あらゆる産業が好景気の内にあります。

当地に於ても、いろいろ懸念された消費税の転嫁問題ですが、なんとか定着したかのようです。又、名古屋市政100周年を記念して市内三つの会場で催された世界デザイン博も目標の1400万人動員が叶い、名古屋駅を始め街の此処彼処で景観が美しく変わりました。そして当地選出の海部総理の誕生です。

さて、何処も彼処も景気の良い中で我々の業界は増収減益、稔り少ない繁栄を続けています。工事業の皆さんも人手不足で悩んでいます。何かがおかしい。我慢と妥協と駆け引きに馴らされ、あるべき姿を忘れてしまっているのかもしれない。来年も日本経済は4～5%の成長が見込まれています。体質改善の環境は整っているはず。我々自身に問題ありとして、素直で正直な主張を心掛けたいと思います。

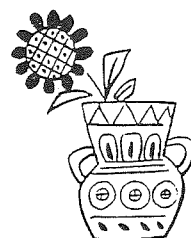
## ●大阪支部の動き

昭和の時代が終わり、平成元年と新たな年号でスタートした1年、世界的には政治改革が断行され、古い体制への改善要求が実現された激動の年であったと云えます。日本経済は政府の内需拡大政策の下で、消費需要に支えられた景気拡大が続き、関西地区でも、業界として、好調に推移することが出来まました。平成2年度もこの傾向は持続され、明るさが感じられます。大阪支部に於ては、9月29日関西技能開発センターで、関シ協主催の経営研修会が開催され、日シ工メンバーも多数参加しました。経営者の意識革命、収益体質づくり、労務管理等について講演があり、業界繁栄の方策について、受注先に対する説得の仕方、安値等

苛酷な条件に対し勇気をもって断る姿勢、労働力確保のための環境づくり、週休2日問題等について、熱のこもった討議がなされました。10月24日には日シ工、なにわ会合同のDM会ゴルフコンペを池田カントリークラブで開催し、晴天の下、好スコア続出の中で、エービーシー商会・片山氏がベストと優勝とを獲得されました。12月8日にはなにわ会の忘年会が、12月19日には関シ協主催の忘年会が開催され、日シ工メンバーも多数参加して、平成元年度の成果をたたえあい、2年度へむけて期待をこめて、にぎやかな一時をすごしました。また、平成2年度にむけて、12月15日の支部幹事会で、新年会の開催、研修会開催等について、日シ工大阪支部として地道な活動を推進していくよう申し合わせました。(文責 前田)

## ●広島支部の動き

新しい年を迎え、支部会員並びに昨年暮に新発足した中国シーリング工事業協同組合のメンバーは張切っております。中国地区も関東、近畿地区などには遠く及びませんが、一昨年当りから大型物件が続出し、工事量も拡大しております。何かと雑用が多く会としての行事も怠りがちでありましたが、今年こそ、中シ協組と協力し実のある活動をして行きたいと考えています。



## 各地からのたより

### ●福岡支部の動き

平成2年の新しい年を迎え、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

ご承知のとおり、九州は地理的にも、歴史的にもアジアと深いつながりがあり、福岡市は、その中でも九州の中核都市として発展しております。21世紀へ向けて都市づくりの基本理念を「海に開かれた活力あるアジアの拠点都市」と

位置付け、海とロマンのある国際都市づくりの推進をはかっております。本年は「ときめき、出会い、みなぎる力」をスローガンに「とびうめ国体」が開催され、県内各地で競技が展開されます。

さて、去る12月13日、久しぶりに九シ協、ディーラー会、工業会の幹事会社で忘年会を開催し、情報交換を行い合せて親睦を深める事が出来ました。

今年は例年に比較して、物件も増加しており、各工事店の皆様は、連日遅くまでがんばっていらっしゃいます。

最後に、今年も業界の発展のため、関係者一同、力を合せて協力していくつもりであります。皆様方のご支援、ご指導をお願い致します。

(平成2年1月8日 義本記)



## アーケジュールシリーズ

使いやすさと信頼性の調和      タイルメントの充てん剤

S-100 (シリコン系)	S-200 (変成シリコン系)	S-300 (ウレタン系)	S-500 (アクリル系)	S-700 (油性系)
S-101 (シリコン系)	S-202LM (変成シリコン系)	S-303LM (ウレタン系)	S-600 (ブチルゴム系)	アクリルコーク ジャンボ (アクリル系)

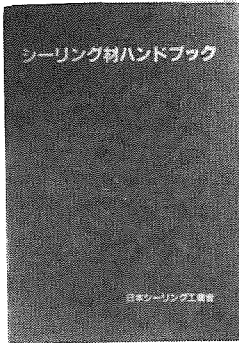


株式会社 **タイルメント**

本社 / 〒453 名古屋市中村区宿務町1の58      TEL (052)412-5300(代)      FAX (052)411-3516

■東京支店 ■大阪支店 ■名古屋支店 ■仙台営業所 ■福岡営業所 ■広島営業所 ■札幌出張所 ■横浜出張所 ■北陸出張所

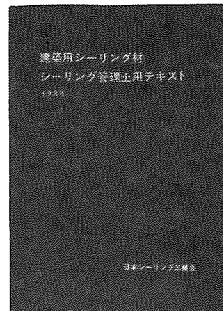
## 改定版・シーリング材 ハンドブック



好評のシーリング材ハンドブックの改定版。JIS、JASS、建設省建築工事共通仕様など最新情報を随所に盛り込んだシーリング材の案内書。シーリング材の特性と選び方に重点を置いた実用書として、誌面も解り易く見易い構成になっています。

頒布価格 1,000円

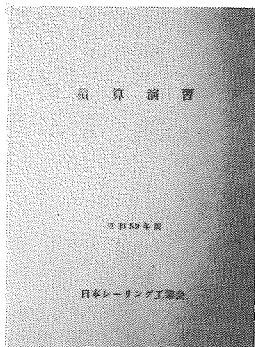
## 新・建築用シーリング材 シーリング管理士用テキスト 1988



内容も大幅に改訂。教科書サイズとなり携帯にも便利。シーリング材の適材適所の使用、適切な目地設計、正確な施工など種々の知識と技術の向上を旨とした「シーリング管理士」養成講習会の教材であり、シーリング関係者にとって貴重な参考書です。

頒布価格 4,500円

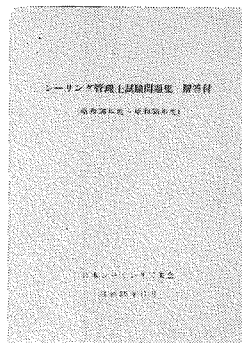
## 積算演習



図面から正確な目地寸法、延べ長さを拾い出し、材料費、工賃を加えた材工共の単価の算出は施工会社、シーリングメーカーおよび関係者各位にとって重要な業務です。この道のベテランが図面により一からわかり易く順序だてて解説しています。

頒布価格 1,000円

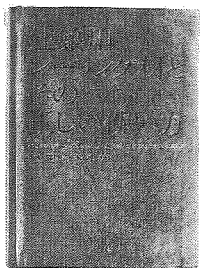
## シーリング管理士試験 問題集・解答付(60~62年度)



問題集として最近3年間(60~62年度)のシーリング管理士試験問題を年度別に集約した本書は管理士・技術管理士を志す人のみならずシーリング業務に携わる方々にとって参考となるものです。

頒布価格 1,000円

## 建築用シーリング材と その正しい使い方

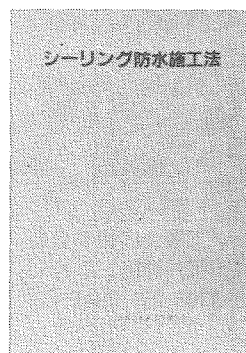


者必読の座右の書。執筆者は故・波多野一郎千葉大学教授、小池迪夫東京工業大学教授、加藤正守千葉大学助教授をはじめわが国シーリング材研究の第一人者および業界関係者多数。設計から材料、施工まで幅広い内容となっています。

頒布価格 4,800円  
(会員頒布価格 4,300円)  
(消費税別途)

わが国建築用シーリング材の最高権威である・故狩野春一工学博士の監修による、シーリング関係

## シーリング防水施工法 改定版



シーリング工事の基本から実践・応用までを最新技術資料を盛り込み解り易く解説した実務参考書。内容は▶建築物の基礎知識▶シーリング防水の基礎知識▶良いシーリング防水工事▶良いシーリング防水工事のためのディテールシート▶故障と補修の構成。

日本シーリング工事業  
団体連合会発行  
頒布価格 2,500円  
(消費税別途)

(送料は別途申し受けます)

## 日本シーリング工業会の概要

### 性格と組織

本会はわが国における建築用、土木用シーリング防水の健全な発展と振興を計ることを目的として、昭和38年2月に設立されました。会員はわが国のシーリング材メーカーが加盟し、賛助会員は原材料メーカー及び取扱業者が加入しており、全国に7支部を有する全国的組織であります。

### 事業

- シーリング管理士、シーリング技術管理士の養成
- 日本シーリング工事業団体連合会と連繋、材料および工事に対する信頼の確保
- 技術資料の収集と情報の交換
- JIS, JASS への協力
- 市場調査、需要開発に関する調査研究
- 機関誌「シーリング」(年1回発行)
- シーリングニュース(年3回発行)

## 日本シーリング工業会の組織

### 〈委員会〉

- 総務委員会
- 技術委員会
- 広報委員会
- 調査委員会
- シーリング管理士  
検定委員会

### 〈分科会〉

- 機能別分科会
  - 弾性系1成分形分科会
  - 弾性系2成分形分科会
  - 非弾性系1成分形分科会
- 基材別分科会
  - シリコン分科会
  - 変成シリコン分科会
  - ポリサルファイド分科会
  - ポリウレタン・アクリルウレタン分科会
  - アクリル・SBR分科会
  - ブチルゴム・油性分科会
  - 変成ポリサルファイド分科会

### 〈支部〉

北海道支部 仙台支部 東京支部 名古屋支部  
大阪支部 広島支部 福岡支部

シーリングニュース第38号

企画・発行：日本シーリング工業会広報委員会  
〒101 東京都千代田区外神田2-2-17  
共同ビル ☎03-255-2841~2  
FAX 03-255-2183

製作協力・広告：新樹社  
表紙写真：皇居二重橋

## 日本シーリング工業会会員

- |                |                     |
|----------------|---------------------|
| (株)エービーシー商会    | 東芝シリコーン(株)          |
| オート化学工業(株)     | 東レ・ダウコーニング・シリコーン(株) |
| カネボウ・エヌエスシー(株) | 東レチオコール(株)          |
| 関西パテ化工(株)      | 日興化学工業(株)           |
| コニシ(株)         | 日東電工(株)             |
| サンスター技研(株)     | 日東ポリマー工業(株)         |
| 三洋工業(株)        | (株)日本化学研究所          |
| サンライズメイセイ(株)   | 日本シーカ(株)            |
| シャープ化学工業(株)    | 日本添加剤工業(株)          |
| 昭石化工(株)        | 日本フランシール(株)         |
| 信越化学工業(株)      | (株)ノーベル樹脂化学         |
| 住友スリーエム(株)     | バイエル合成シリコーン(株)      |
| (株)スリーボンド      | (株)服部商店             |
| 世界長(株)         | 早川ゴム(株)             |
| セメダイン(株)       | 日立化成ポリマー            |
| (株)タイルメント      | 保土谷建材工業(株)          |
| 大日化成(株)        | 三井東圧化学(株)           |
| 武田薬品工業(株)      | 三星産業(株)             |
| テイパ化工(株)       | ヤマウチ(株)             |
| (株)東亜応用化工      | 横浜ゴム(株)             |
| (株)東郊産業        |                     |

### 賛助会員

- |              |                |
|--------------|----------------|
| 旭化成工業(株)     | 大進商工(株)        |
| アサヒボンド工業(株)  | (株)ダイフレックス     |
| (株)井上製作所大阪支店 | タカビシ化学(株)      |
| (株)小野田       | 社日本カーテンウォール工業会 |
| 化研マテリアル(株)   | 日本触媒化学工業(株)    |
| 鐘淵化学工業(株)    | 日本バックアップ工業(株)  |
| (株)菅野製作所     | 日本ポリウレタン工業(株)  |
| 光栄商事(株)      | 野口興産(株)        |
| (株)昭和丸筒      | (株)野村事務所       |
| 白石工業(株)      | フヨ一(株)         |
| (株)新和商会      | ミキスタ工業(株)      |

### 大阪支部賛助会員

- |           |                  |
|-----------|------------------|
| 大阪御国商事(株) | (株)野村事務所         |
| 鐘淵化学工業(株) | フヨ一(株)           |
| 鐘工工業(株)   | (株)前田精市商店        |
| 岸田資材工業(株) | 三国金属工業(株)        |
| (株)旭栄     | (株)宮崎            |
| 三省物産(株)   | モリシタ化学産業(株)      |
| 白石工業(株)   | (株)山本製作所         |
| (株)ジャビコ   | ヨコハマゴム工業品関西販売(株) |
| 竹原化学工業(株) | 栄光産業(株)          |



## 信越シリコーンシーラント

# 耐久性能と実績。

信越シリコーンシーラントは、耐久性、耐候性、耐熱性、耐寒性などにすぐれた高性能弾性シーリング材です。ほとんどの材料とよく接着し、一般住宅、超高層ビル、土木工事、水槽などの各種目地に幅広く使われています。

**信越化学工業株式会社**

シリコーン事業本部 国内営業第三部 (03)256-3651  
〒101 東京都千代田区神田鍛冶町3-6-7 フジトシビル

大阪支店(06) 315-3071

名古屋支店(052)581-6511

福岡支店(092)781-2782

札幌営業所(011)221-6471

仙台営業所(022)264-2777

新潟営業所(025)247-3321

長野営業所(0262)28-9104

北関東営業所(0273)63-2731

北陸営業所(0776)26-1551

広島営業所(082)248-3931

高松営業所(0878)22-3613



横浜ゴムはいま、MULTIPLE。  
例えば、近代建築の分野では、

## 建築用シーリング材〈ハマタイト〉

—が優れた性能で確かな信頼を築いています。

いまや、ビル建築の主流となったカーテンウォール工法。その陰ではシーリングテクノロジーが極めて重要な役割を演じています。〈ハマタイト〉は、外壁パネル、サッシ、ガラスの継目などをしっかりとシーリングし、建物の気密性を守り、また地震や温度変化にも柔軟に対応します。昭和38年、国産初の弾性シーリング材として登場して以来、池袋の「サンシャイン60」や新宿副都心の高層ビル群に採用されるなど、近代建築の発展とともに歩んでいます。最近では、プレハブ工法などの低層住宅や話題の「東京ドーム」にも使用され、適材適所で幅広いニーズに応えています。建築用弾性シーリング材〈ハマタイト〉、横浜ゴムの多彩な顔のひとつです。

# MULTI-FACE

### 〈ハマタイト〉建築商品

- 2成分形シリコーン〈シリコーン70〉
- 2成分形変成シリコーン〈スーパーII〉
- 2成分形ポリサルファイド〈SC-500〉
- 2成分形ポリウレタン〈UH-30〉
- 1成分形変成シリコーン〈スーパーワン〉  
(高モジュラスタイプ)
- 1成分形変成シリコーン〈スーパーワンLM〉  
(低モジュラスタイプ)
- 1成分形ポリウレタン〈シールエース〉
- 1成分形シリコーン〈SS-310〉
- 1成分形弾性エポキシ〈エポソフト〉
- ウレタン塗膜防水材〈アーバンルーフ〉
- 2成分形エポキシ接着剤〈Y-1700TM〉
- 2成分形ポリサルファイド〈PRC-428〉
- 2成分形ポリサルファイド〈RC-100FT〉
- 2成分形ポリサルファイド〈SM-101HT〉
- 合成樹脂系塗床材〈スムーニーフロアー〉

